令和6年度　大館市　架け橋期のカリキュラム全体計画（4歳児4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿
～周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども～

【知識及び技能の基礎】　豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、出来るようになったりする。
【思考力・判断力・表現力の基礎】　気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。
【学びに向かう力・人間性等】　できるようになったことや分かったことなどを実感し、自分の成長を認め、次の活動や体験への意欲をもつ。

▼幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）

ア：健康な心と体　イ：自立心　ウ：協同性　エ：道徳性・規範意識の芽生え
オ：社会生活との関わり　カ：思考力の芽生え
キ：自然との関わり・生命尊重　ク：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
ケ：言葉による伝え合い　コ：豊かな感性と表現

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
期	4歳児　第1期		4歳児　第2期			4歳児　第3期				4歳児　第4期		
ねらい	・新しい環境に慣れ、保育者や友達に親しみをもって安心して過ごし、好きな遊びを楽しむ。		・好きな場所や遊びを見付けて、自分なりの思いを出しながら、保育者や友達と関わり合って過ごす。			・気の合う友達との遊びを通して、自分の気持ちを言葉で伝えたり友達とイメージをやり取りしたりしながら一緒に遊ぶ楽しさを味わう。				・いろいろな活動に進んで取り組み、自分なりのよさを発揮して、友達と一緒に試したり工夫したりして遊びや生活を進める楽しさを味わう。		
育みたい資質・能力　知識及び技能の基礎	ア：一日の生活の流れが分かり、身の回りの準備や後始末などを自分でしようとする。		ア：友達といろいろな遊びを通して、身体を十分に動かす楽しさを味わう。 イ：			ア：ルールのある運動遊びに参加し、友達と一緒に体を動かす楽しさを味わう。				ア：自分なりのめあてや見通しをもって、遊んだり生活したりしようとする。		
	ア：交通のきまりや安全な歩行、緊急時の避難の仕方が分かり、守ろうとする。 オ：遊具や用具など、身近に使う物の使い方が分かり、安全に遊ぶ。 ケ：日常生活や友達との遊びの中で、自分の気持ちや考えを伝える言葉に関心をもつ。 コ：手遊びや言葉遊びなどに親しみながら、言葉の響きやリズムを楽しむ。		ア：雨の日や暑い日の生活の仕方が分かり、着替えや水分補給などを進んで行い、健康に過ごす。 キ：草花や夏野菜の世話をしながら、花や葉、実などの違いに気付き、関心をもつ。 ク：身の回りの玩具や用具、素材で遊びながら、数や量、色や形、名前や数え方に関心をもつ。 コ：絵本や物語、紙芝居などを通して、美しい言葉、楽しい言葉に触れ、言葉に関心をもつ。			ア：安全な遊び方や災害時の行動の仕方が分かり、気を付けて遊んだり生活したりする。 オ：秋の祭りや年末から新年の身近な地域の行事や出来事に関心をもち、生活や遊びに取り入れる。 キ：身近な秋や冬の自然に触れ、風や空、雲や月などの変化に気付き、自然の事象やそれを表す言葉に関心をもつ。 コ：絵本や物語、紙芝居などを聞いて、様々な言葉や表現に興味をもち、遊びや生活に再現したりする。				オ：正月、節分、アメッコ市、ひな祭りなどの伝統文化を見たり体験したりして、関心をもつ。 オ：進級することを楽しみにして、部屋を片付けたり掃除をしたりする。 キ：真冬の自然事象や雪解け、日差しの暖かさなどに触れ、冬から春への自然の変化やそれを表す言葉に関心をもつ。 コ： ケ：相手によって言葉の使い方や話し方を変えた方が伝わることに気付き、相手に分かるように話す。		
育みたい資質・能力　思考力・判断力・表現力の基礎	カ：水、泡、砂、土、粘土などの感触を味わったり様々な遊び方を試したりして、素材のおもしろさを楽しむ。 キ：身近な草花や虫などと触れて遊び、春の暖かさを感じ楽しむ。 ク：遊びや生活の中で、物の準備や後片付けをしながら、並べたり数えたりする。 ケ：保育者にしてほしいことや困っていることを、動作や言葉で伝えようとする。 コ：好きな歌や曲に合わせて、身体を動かしたり歌ったりして楽しむ。		カ：いろいろな材料を自分のイメージに合わせて見立て、工夫して作ったり作った物を使ったりする。 キ：雨や風などの音、雲の形や大きさなどに関心をもち、その変化や不思議さ、美しさを楽しむ。 ク：夏野菜の収穫を喜び、みんなで数を数えてシールを貼ったり数を書いたりする。 ケ：保育者や友達にしたいことや思ったことなどを伝えたり、分からないことを尋ねたりする。 コ：感じたことや発見したことを、思い思いに描いたり作ったりすることを楽しむ。			カ：遊びの場や遊びに必要な物を工夫して作り、自分たちで考えたことを取り入れながら遊ぶ。 キ：捕まえた昆虫などを親しみを込めて世話したり、生死に接したりすることを通して、命を大切にしようとする。 ク：木の実など自然物を集めたり数えたり、分けたり並べたり比べたりして数や量、形に関心をもつ。 ケ：保育者や友達に、したことや見たこと、感じたこと、考えたことを話したり聞いたりする。 コ：発表会をきっかけに、自分の思ったことを動きや言葉、音楽などのいろいろな方法で表現して遊ぶことを楽しむ。				カ：遊びの場や用具を繰り返し工夫したり試したりして、より楽しく遊べることに気付く。 キ：雪や氷で遊びながら、その変化に気付いたり、性質を遊びに生かしたりする。 ク：生活や遊びの中で数量や図形、文字の役割に気付いたり、遊びに取り入れたりする。 ケ：自分の思ったことや考えたことを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりして、友達と一緒に遊びや生活を進める。 コ：絵本やお話などを興味をもって聞き、イメージを広げてなりきって表現したり想像して遊んだりする。		
育みたい資質・能力　学びに向かう力・人間性	イ：自分で遊びたい場所ややってみたい遊びを見付け、じっくり遊ぶ。 ウ：友達と遊んだり、話したり歌ったりすることを喜び、一緒に活動する楽しさを味わう。 エ：共同の遊具や用具を大切にし、みんなで譲り合って使ったり片付けたりする。 オ：母の日や父の日などを通して家族から愛されていることに気付き、家族を大切にしようとする。		イ：水遊びをするための準備や後始末の手順や仕方が分かり、自分でしようとする。 ウ：気の合う友達との関わりを楽しみ、自分の思いを伝えたり、相手の思いに気付いたりする。 エ：泣いている友達を慰めたり保育者に伝えたりするなど、友達を思い手助けしようとする。 オ：クラスの当番活動などを通して、自分が役に立つ喜びを感じる。			イ：なわとびや鉄棒、ボール遊びなどを友達と競い合いながら繰り返して遊び、いろいろな遊びに挑戦しようとする。 ウ：発見したことや感動を友達に伝えたり、相手の思いにも気付いたりして、感情を共有する。 エ：生活や遊びの中でのルールや友達との約束の大切さに気付き、守ろうとする。 オ：ハロウィンや地域の公民館の文化祭、高齢者施設の訪問などで、身近な地域の方々と関わり親しみをもつ。				イ：正月遊びや雪遊びなどで自分なりのめあてをもって、諦めないでがんばろうとする。 ウ：仲のよい友達と遊びながら、考えを膨らませたり自分の考えを伝えたりしながら、一緒に遊びを進めようとする。 エ：生活の場面でよいことと悪いことがあることに気付き、考えながら行動する。 オ：５歳児から当番の仕方を教えてもらったり一緒に取り組んだりして、進級への期待をもつ。		
★☆行交職子事流員ど・活交もＦ動流交Ｃ流	入園式 進級の会 保護者参観日	避難訓練 交通安全教室	保護者面談 運動会 満5歳児すてっぷ相談（毎月1回　5～3月実施） ・4歳児担任も保護者とともに講話に参加し 「就学に向けて家庭で心がけたいこと」を聴く。	親子遠足 保護者参観日	☆七夕会 ★保育体験 ★市夏季研修会 ★職員の保育体験	お月見会 運動会 お祭りごっこ	ハロウィン 発表会・お楽しみ会 ★幼保小中連携メディアコントロール週間	クリスマス会		☆節分・まめまき ★教職員研究実践発表会	アメッコ市 保護者面談	ひなまつり 感謝の会 卒園式・修了式
○☆環境の構成　援助のポイント	☆ 一人一人の子どもの気持ちを受け止めながら信頼関係を築き、個々の発達や経験に応じて丁寧に関わり安心して生活できるようにする。 ☆ 園生活の一日の流れを可視化し、見通しをもって生活したり自分のことは自分でしようとしたりする意欲を育てる。 ○ 新しい環境に馴染めるように、今まで親しんできた遊具を準備したり安心して過ごせる場を確保したりする。 ○ 園庭の木々や草花などに触ったり、遊びに取り入れたりできるような環境を整え、身近な自然に興味や関心をもてるようにする。		☆ 子どもの発見や気付きに共感し、それを友達と共有したり遊びに取り入れたりできるようにする。 ☆ 自分の思い通りにならない葛藤体験を大切にし、子どもの思いを受け止めながら気持ちの安定を図り、よりよい解決策を一緒に考えていくようにする。 ○ 栽培物や生き物を日常的に観察したり世話をしたりできる環境を整え、生長や命の大切さに気付けるようにしていく。 ○ 雨の日や暑い日でも、園の内外で安全に全身を動かして遊ぶ楽しさや心地よさを味わうことができる環境を整える。			☆ 友達との関わりの中で、お互いのアイディアを認めたり取り入れたりして、一人一人が自己発揮できるようにする。 ☆ 遊びの中で友達に思いを伝えたり、自分とは違う友達の思いに気付いて我慢したり気持ちを切り替えたりしながら、友達とふれ合う楽しさを味わえるように援助する。 ☆ 季節の事象の変化など、自然に触れたり見たりする機会を設け、子どもの感動や発想を受け止めたり保育者の感じたことを伝えたりして言葉が豊かになるように援助する。 ○ ボール遊びや鬼ごっこ、縄跳びなど、身体を十分に動かす楽しさを味わえる遊びの場を工夫する。				☆ ３歳児や５歳児と一緒に遊んだり手伝ったり、教えてもらったりして関わる姿を認めながら、自信や自己肯定感が育まれるようにしていく。 ☆ 年長さんとの思い出を振り返りながら、感謝の気持ちを表すために工夫して感謝の会の準備を進められるようにする。 ○ ごっこ遊びにじっくりと取り組めるよう、必要な用具や素材等を子どもと共に考え、遊びが発展するようにする。 ○ ５歳児と一緒に経験しながら役割を引き継ぐ機会や場を設定し、進級への期待をふくらませる過程を大切にする。		
家庭との連携	・安心して登園できるように保護者の喜びや不安を受け止めるとともに、子どもの様子を情報交換したり年間の子どもの育ちの見通しを伝えたりしながら、成長を共に支え合う関係作りをする。 ・緊急時の連絡方法や避難場所を周知するとともに、登降園時の安全、年間の園行事等について丁寧に説明し、保護者の理解と協力を得る。		・保育参観や保護者参加の行事等を通して、子どもの育ちを具体的に伝え、園の保育方針の理解を深められるようにする。 ・子ども同士のトラブルは、成長の機会として大切な経験であることを伝え、理解と協力をお願いする。 ・豊かな遊びの体験が心や言葉、運動機能の発達、興味・関心の広がりなどに大きく関わることを伝え、家庭での過ごし方や親子の遊びを見つめ直すきっかけを作る。			・運動会や発表会などの情報を早めに提供し、子どもたちの取組や育ちの様子も丁寧に伝え、参加を促していく。 ・保護者同士が話し合ったり活動したりする場をもち、保護者の共に子育てを楽しもうとする関係作りを工夫する。 ・メディアコントロールについての小・中学校と連携した取組の様子やアンケート結果を伝え、年末年始の過ごし方や親子の関わりを深める遊びなどの情報を提供する。				・正月遊びや雪遊びなどの様子を伝え、家庭でも親子、家族で楽しんだり話題にしたりしてもらう。 ・感染症の予防や発生状況の情報を、丁寧に知らせていく。 ・進級に向けた園での生活や遊び、友達関係などの様子を具体的に伝え成長の喜びを共有すると共に、進級への不安や課題など保護者の思いを受け止める。		

令和6年度　大館市　架け橋期のカリキュラム全体計画（5歳児4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿
～周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども～

- 【知識及び技能の基礎】　豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、出来るようになったりする。
- 【思考力・判断力・表現力の基礎】　気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。
- 【学びに向かう力・人間性等】　できるようになったことや分かったことなどを実感し、自分の成長を認め、次の活動や体験への意欲をもつ。

▼幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）

ア：健康な心と体　イ：自立心　ウ：協同性　エ：道徳性・規範意識の芽生え
オ：社会生活との関わり　カ：思考力の芽生え
キ：自然との関わり・生命尊重　ク：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
ケ：言葉による伝え合い　コ：豊かな感性と表現

月	4・5	6・7・8	9・10・11・12	1・2・3
期	5歳児　第１期	5歳児　第２期	5歳児　第３期	5歳児　第４期
ねらい	・年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。	・友達と思いを伝え合いながらイメージを共有し、力を合わせて遊びや生活を進めていく中で仲間意識を高める。	・友達と一緒に考えたり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら共通の目的に向かって遊びや生活を進める楽しさを味わう。	・自分や友達のよさが分かり、認め合ったり受け入れ合ったりして協力して、遊びを進める楽しさややり遂げる満足感を味わう。
育みたい資質・能力 知識及び技能の基礎	ア：体を動かす楽しさや心地よさを感じ、いろいろな運動遊びに進んで取り組む。 ア：災害時の避難の仕方や身の守り方が分かり、合図や指示に従って行動しようとする。 キ：砂遊びや泥遊びを通して、園庭の土や砂の粒の大きさや性質などの違いに気付く。 ク：縄跳びやフラフープなどの回数を数えるなど、遊びの中で必要感をもって数えることを通して数を実感する。 コ：絵本や物語、紙芝居、言葉遊びなどに親しみ、言葉の楽しさや美しさに気付き、言葉を豊かにする。	ア：縄跳びや鉄棒などの遊びに応じた体を動かすコツをつかんで、十分に体を動かして遊ぶ。 オ：絵本や図鑑、身近なちらしなどから情報を取り入れ、遊びがより本物に近づいていくことを楽しむ。 キ：身近な草花などを使った遊びや水遊びなどを通して、植物の特徴や色の変化、水温の変化などに気付く。 ク：文字や数字、図形、標識などを遊びや生活に取り入れて使うことを楽しむ。 コ：草花遊びや色水遊びなどを通して、草花や色の名前などに興味をもって調べ、言葉が広がることを楽しむ。	ア：健康に関心をもち、生活リズムを整えたり、身の回りを整理、整頓したりする。 ア：収穫した野菜などを友達と一緒に食べたり、遊びに取り入れたりして、食べ物への関心を高める。 オ：地域の公共施設や小学校などを訪れ、場所や状況に応じた約束を知り、守ろうとする。 キ：紅葉や落ち葉、虫、冬芽、雪や氷の様子などから、季節の変化や不思議さを感じ、生命のサイクルに気付く。 ク：時計や記名など、文字や数字に親しみ、生活する上で必要な情報が分かることを喜ぶ。	ア：園生活の見通しをもち、時間を意識しながら、気持ちを切り替えて行動する。 ア：手洗い、うがい、好き嫌いを減らすなど、健康な生活のために必要なことを進んで行う。 オ：正月、節分、アメッコ市、ひな祭りなどの伝統文化を体験し、地域への親しみをもって遊びに再現する。 ク：友達と一緒に縄跳びの回数を競ったりカードの枚数を数えたりして記録して遊び、数字や表の便利さに気付く。 コ：挨拶や感謝の言葉を状況に応じて適切に使いながら、友達や年少の子どもたち、先生などと関わる。
育みたい資質・能力 思考力・判断力・表現力の基礎	カ：リレー遊びやドッチボールなどのゲームを楽しくするために、作戦やルールを話し合って工夫する。 キ：園庭の草花や野菜、虫などについて、名前や世話の仕方などに興味をもって調べ、命あるものを大切にしようとする。 ク：遊びや生活の中で、物の準備や後片付けをしながら、数える、比べる、形を工夫するなどを意識する。 ケ：絵本や物語に親しみ、気付いたことや感想、想像したことを友達と伝え合うことを楽しむ。 コ：体験したことや考えたことを、いろいろな素材や用具を十分に活用し自分なりに表現することを楽しむ。	カ：遊びの目的に沿って時間をうまく使ったり、場所や道具を選んだりして、自分たちで遊びを進める。 キ：雨や虹、雲など偶然出会った自然の変化に関心をもち、言葉で表現したり、調べたり試したりすることを楽しむ。 ク：収穫した野菜の数を数えたり、大きさや重さを比べたりしながら、大きい・小さい、多い・少ない、重い・軽いなどの言葉の意味を実感する。 ケ：ごっこ遊びや共同製作などで友達とイメージを伝え合い、共有しながら表現する喜びを味わう。 コ：歌を歌ったり踊ったり、楽器を使って遊んだりすることを通して、曲の感じやリズムの変化を楽しんで表現する。	カ：遊びに必要な物のイメージを友達と共有しながら、素材や用具の特性を生かして製作し、遊び方を工夫する。 キ：草木の実や落ち葉などから身近な自然の変化を感じ取り、言葉で表現したり工夫して遊んだりすることを楽しむ。 ク：空き箱や紙などの形や大きさ、長さなどを捉え、組み合わせを考えながら作り上げることを楽しむ。 ケ：遊びや生活を振り返って楽しかったことや困ったこと、明日やりたいことなどを言葉で伝え合う。 コ：絵本や物語などのお話の世界を豊かに想像して遊びに取り入れたり、登場人物になりきって言葉や動きを工夫して表現したりすることを楽しむ。	カ：友達と一緒に遊びながら、共通の目的をもってアイディアを出し合い、試行錯誤する過程を楽しむ。 キ：気温によって雪質や氷のでき方が違うことなどから、その特性への関心を高め、試して遊ぶ楽しさを味わう。 ク：文字には人に思いを伝える役割があることに気付き、手紙などで伝えることを楽しむ。 ケ：園生活を振り返り、今まで経験したことや友達と協力した思い出などを言葉で伝え合い、成長した喜びを味わう。 コ：卒園式やお別れ会の歌や呼びかけなどで、みんなで気持ちを合わせて表現したり聴き合ったりして、響き合いを楽しむ。
育みたい資質・能力 学びに向かう力・人間性	イ：縄跳びや鉄棒などで、自分の目標を立てて諦めないで挑戦しようとする。 ウ：ルールのある遊びの中で、勝敗を受け入れ、友達と競い合ったり応援したりして遊ぼうとする。 エ：進んで挨拶を交わしたり「ありがとう」「ごめんなさい」の気持ちを心をこめて伝えようとする。 オ：母の日や父の日などを通して家族の大切さに気付き大切にしようとする。	イ：体を動かす遊びに繰り返し挑戦し、できるようになった達成感を味わい、様々な運動に挑戦しようとする。 ウ：友達とお互いの思いや考えを共有し、目的が達成できるように話し合ったり協力し合ったりしようとする。 エ：トラブルを通して、思い通りにいかない葛藤を味わったり気持ちを調整したりすることを繰り返し、相手の思いに気付きながら仲間としてのつながりを深めようとする。 オ：高齢者や身近な人々との関わりを通して、親しみをもち関わる楽しさを感じる。	イ：当番の仕事など、自分がしなければならないことを自覚し、忘れずにやろうとする。 ウ：劇遊びなどで、友達のよさを認め合いながら役割を分担したり力を合わせたりして遊びを創り上げることを楽しむ。 エ：自分の思いを友達に伝えたり、相手の考えを受け入れたりして、折り合いをつけて遊ぼうとする。 オ：地域の方々や異年齢児、小学生など、様々な関わりの中で、相手や場面に応じて話したり接したりしようとする。	イ：園生活やクラスの自分の役割を果たそうとし、役に立つ喜びを味わう。 ウ：困ったことを友達や先生に自分から話したり、お願いしたいことを伝えたりして、自分たちで解決しようとする。 エ：楽しく生活するためにきまりを守ったり、新たに作ったり、必要に応じて作り替えたりしようとする。 オ：園生活を振り返り、自分の成長や自分が大切にされていることに気付き、周りの人たちへの感謝の気持ちをもつ。
行事・活動 ★職員交流 ☆子ども交流 F交流 C交流	入園式／進級の会／避難訓練／運動会／保護者参観日／交通安全教室／保護者面談／★小学校１年生の授業参観・情報交換会・架け橋カリキュラム見直し	親子遠足／七夕会／保護者参観日／お泊まり保育／☆プール遊び交流／★幼保小連携推進会議／★保育体験／★幼保小担任研修会／★市夏季研修会	お月見会／ハロウィン／発表会・お楽しみ会／クリスマス会／運動会／就学時健診／☆1年生との交流／☆幼保小中連携メディアコントロール週間／就学支援委員会／★生涯学習フェスティバル展示／★小学校市教研総合研への参加	☆かるた大会／☆節分・豆まき／アメッコ市／ひなまつり／お別れ遠足／保護者面談／★情報交換会／卒園式／お別れ会／★教職員研究実践発表会／☆体験入学／★要録・個別の教育・保育支援計画の送付
○環境の構成 ☆援助のポイント	☆年長になった喜びや緊張を受け止め、目標をもって意欲的に取り組む姿を認めながら自信をもって自分らしさを発揮できるように励ましていく。 ○１日の生活の流れを時計とともに表示し、活動の見通しがもてるようにする。 ○子どもが遊びを継続し、満足感や達成感を得られるように、新しい素材や道具などを子どもと一緒に考えて用意したり、場所や時間を十分に保障したりする。	☆友達と協力したり競い合ったりして活動する中で、繰り返し挑戦したり試したりしようとしている姿を丁寧に読み取り、認めたり紹介したりする。 ☆お互いの思いやイメージを出し合いながらよりよい方法で遊びを展開できるように、考えを受け止めて言葉にしたり視覚化したりしながら、考えを引き出す援助をする。 ○遊びの楽しさや工夫を交流したり、お互いのよさを認め合ったりするために、遊びの振り返りの時間を保障する。	☆共通の目的に向かって試行錯誤しながら実現に向かう場面を大切にし、それぞれの持ち味を発揮したりお互いによさを認め合ったりしながら協力し合うことができるような言葉掛けをする。 ○一人一人の興味・関心に応じた絵本との出会いを大切にし、絵本に親しむ環境を工夫する。 ○四季の変化や自然の美しさ、不思議さを感じられる体験、知的好奇心を満たす遊びや環境を工夫する。	☆今までの経験を生かして、心と体を十分に働かせて自分たちで遊びを進める姿を認め、満足感をもてるようにする。 ☆子どもと一緒に園生活を振り返りながら、５歳児としての役割をやり遂げた達成感や自他の成長への喜びを共有し、自信をもって行動できるようにしていく。 ○卒園に向けて、自他の成長に気付いたり、お世話になった方々への感謝の気持ちをもったりできるような環境を工夫する。
家庭との連携	・子どもの園での様子を伝えたり、家庭での様子や発育上心配なことを聞いたりしながら、保護者の思いを受け止めるとともに、信頼関係を築いていく。 ・年長として意欲と自信をもって生活している姿を伝え、子どもの成長をともに喜び合ったり考えたりして支えていく。 ・年間の行事予定やそれをリードする年長児としての役割を伝え、理解と協力を得る。	・遊びの様子や行事などの参観、懇談を通して、「どのような育ちを願い、どんなを経験をさせたいか」、子どもの変容を伝えながら成長を共有していく。 ・遊びや生活の中でのトラブルが成長につながることを伝え、様子を伝えながら理解を得るようにする。 ・早寝・早起き・朝ご飯や絵本の読み聞かせの大切さを伝え、理解と協力を得る。	・就学時健康診断を機会に、入学までに身に付けたい習慣や力について話題にしていく。 ・就学に向けての心配や不安を受け止めて、安心して就学できるように子どもへの関わりを一緒に考えるとともに、必要な情報を提供し相談できる機会や場につなぐ。場合によっては小学校と情報を共有する。 ・就学に向けて、起床、就寝、食事、メディアの時間を見直し、規則正しい生活を送ることができるように協力をお願いする。	・卒園式、入学式までの予定などの情報を提供し、見通しをもって準備できるよう、また不安がないように支援する。 ・子どもの頑張りやよさについて伝え、成長の喜びを共有し、自信と期待をもって入学できるような励ましや言葉掛けをお願いする。

※赤字は、令和５年度のカリキュラムを修正・追加した箇所です。

令和6年度　大館市　架け橋期のカリキュラム全体計画（1年生4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿

～周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども～

【知識及び技能の基礎】　豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、出来るようになったりする。

【思考力・判断力・表現力の基礎】　気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。

【学びに向かう力・人間性等】　できるようになったことや分かったことなどを実感し、自分の成長を認め、次の活動や体験への意欲をもつ。

▼幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）

ア：健康な心と体　イ：自立心　ウ：協同性　エ：道徳性・規範意識の芽生え
オ：社会生活との関わり　カ：思考力の芽生え
キ：自然との関わり・生命尊重　ク：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
ケ：言葉による伝え合い　コ：豊かな感性と表現

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
期	小学校１年　第１期	小学校１年　第２期			小学校１年　第３期					小学校１年　第４期		
ねらい	・小学校の生活や新しい学習に興味をもって取り組み、学級の友達や上級生、先生等と進んで触れ合い、楽しく安心して生活する。	・小学校の生活や学習に見通しをもって取り組み、共に活動する楽しさを友達と共有し、意欲的に活動や学習に取り組む。			・たくさんの友達との関わりの中で、相手の思いや願いを感じながら自分の思いを表現し、主体的に活動や学習に取り組む。					・自分や友達の成長に気付き、お互いに認め合い、相手の気持ちを尊重しながら、自信をもって活動や学習に取り組む。		
身に付けたい資質・能力 知識及び技能の基礎	・楽しく生活するために大切なこと（元気のよい返事や気持ちを込めた挨拶、約束やマナーなど）のよさを実感し、進んで実践しようとする。（アイウエオ） ・友達と一緒になかよく運動や遊びに取り組み，身体を動かす気持ちよさや楽しさを味わう。（アイウ） ・新しい学習に興味をもち、教科書や鉛筆などの正しい使い方、姿勢などの学習の約束を進んで生かそうとする。（イエ） ・したことや見付けたことなどを、姿勢や口形、発声や発音に気を付けてはきはきと話す。（ケ） ・本に興味をもって読み聞かせを聞いたり、学級文庫などから読みたい本を見付けて読もうとする。（オコ）	・生活のリズムが身に付き、活動に見通しをもって準備したり約束やマナーを守って行動したりする。（アイエオ） ・学校や通学路、公園などで安全に生活するために大切なことに気付き、守って行動する。（アエオ） ・学び合いの約束を知り、聞き手を見て話したり話し手に共感して反応しながら聞いたりする。（ウエケ） ・言葉遊びや詩に親しみ、言葉のリズムや響きを感じながら音読する。（オケコ） ・植物の栽培や観察などを通して、自然の不思議さや面白さに気付き、言葉で表現する。（カキコ） ・図書館の使い方やマナーを知り、本を大切にして読む。（エオ）			・体を動かして遊んだり、食事や手洗い、うがい、汗の始末をしたりなど、健康な生活について考え、進んで実践する。（アイエ） ・身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使う。（ケコ） ・植物や虫などが生命をもっていることや成長していること、生命をつないでいることに気付く。（カキ） 秋や冬になるといつも同じ現象が起こるなど、自然に一定のきまりがあることに気付く。（カキ） ・図書館で読みたい本を選び、題名や読んだ日をカードに記録したり好きなところを友達に紹介したりして読書に親しむ。（エオコ）					・学習の見通しをもって、積極的に友達の話を聞き、質問や感想を述べる。（イケ） ・１年生の初めに書いた文字や絵などと今を比べ、自分の成長に気付く。（イオ） ・自分でできるようになったことや、自分の役割が増えたことなど、自分の成長に気付く。（アイオ） ・言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにする。（ケコ） ・冬の遊びや伝統行事への参加を通して、季節に合わせて自然や生活の様子が変化していくことに気付き、自分たちの生活を楽しくする。（オカキ）		
思考力・判断力・表現力の基礎	・話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを、落とさないように注意して聞く。（カケ） ・気付いたことや思ったこと、想像したことなどを友達とやり取りする楽しさを味わう。（カケコ） ・身近なことや経験したことなどから伝えたいことを選び、絵や言葉で表現する。（カクケコ） ・身近な場所の春の様子を観察して季節の変化に気付き、友達と伝え合ったり遊びや生活に取り入れたりする。（カキ） ・学校探検で見付けたことや分かったことを自分の生活との関わりで捉え、友達と伝え合う。（カケコ） ・身の回りの事象や具体物と関連させながら、ひらがなや数量、形などを実感として捉える。（カク）	・伝えたい相手に応じて言葉や方法を選んだり、事柄の順序を考えたりして話す。（カケコ） ・経験したことや身に付けたことを生かしたり友達の考えを取り入れたりして、よりよい方法を考える。（ウカケ） ・夏の自然を生かした遊びや水遊びなど、自分たちで試したり工夫したりして遊びを創り出す。（カケコ） ・身の回りの言葉や数、自然などに興味をもち、感じたことや想像したことを文章や絵、歌や身体の動きなどで表現したり、生活に生かしたりする。（カキクケコ） ・身の回りにある数やものの順序、長さなどの比べ方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現する。（カクケ）			・友達の話を聞いて、質問したり感想を伝えたり、相手の発言を受けて話をつないだりする。（カケ） ・話したいことの順序に気を付けながら分かりやすく伝えたり、理由を付けて説明したりする。（カケ） ・経験したことなどから書く材料を集め、文の続き方に注意して書いたり、読み返して間違いを直したりする。（カコ） ・既習を活用したり、ペアやグループで相談したりして、よりよい考えを見付ける。（ウカケ） ・木の実など秋の自然を生かし、作りたいものに合った材料を選んだり遊び方を考えたりして作る。（カキケ） ・ものを種類ごとに分類整理したり１０のまとまりを作ったりして、簡単な絵や図を用いて表す。（カク）					・これまでの学習や経験を生かし、事柄の順序に沿って構成を考えて１年間の思い出を書く。（カケコ） ・雪や氷の特徴を生かした遊びを何度も繰り返し、友達と遊びを発展させる。（ウカキ） ・入学した頃の自分と今の自分を比較して、自分のできるようになったことを探したり、実際にやってみたりする。（イオカ） ・新しい１年生に学校のことを分かりやすく伝えるために、内容や表現方法を工夫する。（ウオカケコ） ・数量の関係に着目して、図を用いて問題の解決方法を考え自分や友達の考えを式や言葉を用いて説明する。（カクケ）		
学びに向かう力・人間性等	・新しく出会う先生や友達と進んで触れ合い、一緒に活動する楽しさを感じる。（イウオ） ・相手や場に応じたあいさつや言葉遣い、表情や姿勢などを考えて、進んで関わろうとする。（イオケ） ・相手の気持ちを考えたり自分の行動を振り返ったりして、気持ちを調整しながら楽しく生活しようとする。（ウオ） ・自分でできることや当番、係の仕事を、友達と協力し合いながら、進んでしようとする。（アイウ）	・学級をより楽しくするために係の仕事を見直すなど、学級の生活を自分たちで工夫しようとする。（イウオ） ・目標に向かって自分の力を発揮したり、友達や上級生と助け合って取り組んだりすることを通して、お互いのよさを理解し連帯感や所属感を深める。（アイウ） ・身近な生き物の誕生や成長の様子を見つめ、親しみをもって関わり、命を大切にしようとする。（アエキ） ・学校を支えている方々や地域の方などいろいろな人と関わることを楽しみ、地域への親しみを深めるとともに、感謝の気持ちを感じながら自分ができることをしようとする。（イオ）			・学習発表会の話合いや練習などを通して友達のよいところを見付け、お互いのよさを認め合おうとする。（イウエ） ・学習や生活を見直し、さらに楽しくするために工夫できることや新しい約束などを考え話し合う。（イウエケ） ・友達や家族に感謝し、みんなの役に立つ喜びを感じながら自分の役割を最後まで果たそうとする。（イウオ） ・喜んでもらえる活動や場に適した話し方や接し方を考えて、高齢者や年長児との交流を楽しむ。（イエオ） ・学習や生活の過程や結果を振り返り、よさや楽しさを感じながら学ぼうとする。（ウオ）					・自分のよさや友達のよさに気付き、互いに認め合い、これからも自分の得意なことを生かしながら役割を果たしていこうとする。（アイウ） ・郷土の文化や習慣、他国の言葉や文化などに触れ、慣れ親しむ。（オ） ・１年間の学習や生活を振り返り、周囲の人々に支えられて成長してきたことを実感し、２年生への願いをもって意欲的に生活しようとする。（アイオ） ・「６年生を送る会」や卒業式の準備や練習を通して、６年生に感謝の気持ちをもつ。（オ）		
★☆行交職子事流員ど・活交もＦ動流交Ｃ流	始業式　入学式　1年生を迎える会　給食開始　学校探検　PTA授業参観・懇親会　交通安全教室・下校指導　縦割り清掃班スタート集会　★就学支援ファイル活用　★就学前施設職員授業参観・情報交換会　架け橋カリキュラム見直し	運動会　家庭訪問　避難訓練　ことばとまなびの小テスト　PTA授業参観・個人面談　終業式　夏休み　★市夏季研修会　★幼保小連携推進会議　★幼保小担任研修会　★保育体験			始業式　秋の遠足　学習発表会　施設訪問　☆プール遊び交流　読書週間　就学時健診　★小学校市教研総合研への参加　☆1年生との交流　終業式　冬休み　幼保小中連携メディアコントロール週間					始業式　節分・豆まき　ひなまつり　避難訓練　スキー教室　英語に親しむ学習　６年生を送る会　なわとび運動　☆体験入学　卒業式　修了式　★教職員研究実践発表会　★情報交換会　★要録・個別の教育・保育支援計画の活用		
○☆環援境助のの構ポ成イント	☆ 入学した喜びを共有し、意欲的に取り組もうとする姿を認め励ましたり、子どもの話を共感しながら聞いたりして、温かな安心できる学級づくりを工夫する。 ☆ 幼児期とのつながりを考慮し、幼児期に親しんだ活動を取り入れ、自信をもって活動できるようにする。 ○ 子どもの思いを汲み取りながら、一人一人が安心感をもち、落ち着いて生活、学習できるように一緒に環境を工夫していく。 ○ 架け橋カリキュラムを生かし、生活科を中心とした関連的な内容や弾力的な時間割を工夫してスタートカリキュラムを作成する。	☆ 具体的な体験を通して、伝え合う、交流する、試行錯誤や繰り返す活動を保障し、お互いのよさやそれぞれの気付きを共鳴させるようにする。 ☆ 運動会などの取組を通して、頑張っている姿や友達と協力している姿を価値付けし、意欲を高める。 ○ 登下校や縦割り班活動、運動会などへの取組を通して、地域の方々や他学年との関係づくりをするとともに、様々な人に支えられていることに気付くようにする。			☆ 学級集会や学習発表会など、共通の目的に向かって活動することで、思いを伝え合い協力して創り上げる体験をもてるようにする。 ☆ 縦割り班や異学年の子ども、幼児、高齢者など、関わりを段階的に広げ多くの人と交流することで、相手意識をもって行動できるようにする。 ○ 友達と話し合って考えをまとめたり、試行錯誤したり、振り返ったりする時間を十分に確保し、満足感や達成感をもてるようにする。					☆ 体験入学では新１年生が入学を楽しみにするような活動を工夫できるようにする。 ☆ 「ありがとうカード」や「いいねカード」を交換し、お互いのよさを実感できるようにする。 ☆ 各教科を通して、１年間の成長を認め、２年生の学習や生活への意欲を高める。 ○ １年間の成長に気付き、自分や友達のよさを実感できるように、子どもの作品やカード、写真などを掲示する。 ○ 情報交換を基に架け橋カリキュラムを振り返り、改善を図る。		
家庭との連携	・学校の方針、１年生の目指す姿や架け橋カリキュラム・スタートカリキュラム、重点施策等について伝え、理解を得る。 ・１年間の予定や１週間毎の具体的な予定を丁寧に伝え、保護者が見通しをもてるようにする。 ・連絡帳や通信などで子どもの様子を伝え、保護者が安心できるようにするとともに、家庭でも話題にし、褒めたり認めたりしてもらえるようにする。	・子どもの頑張っていることやできるようになったこと、課題になることを具体的に伝える。 ・規則正しい生活習慣やメディアコントロール、読み聞かせや音読、家庭学習などを継続する大切さを啓発していく。 ・学校行事や学年の活動、ＰＴＡ活動などの保護者ボランティアの教育的価値を伝えて協力をお願いする。			・２学期始まりの準備物や生活リズムの回復について、協力をお願いする。 ・生活科「かぞくにこにこ大作戦」のねらいや内容を丁寧に伝え、継続してお手伝いに取り組めるよう協力をお願いする。 ・子どもたちの活動の様子や頑張っている姿を伝え、家庭でも褒めたり認めたりしてもらえるようにする。					・子どもの成長について、家庭でも褒めたり認めたりしてもらうようお願いする。 ・自信をもって進級できるように、子どもが自分では気付かない内面の成長についても気付かせてもらうようにする。 ・生活リズムや持ち物など、子どもと一緒に話し合ったり確認したりしながら、進級に向けての準備をしてもらうようにする。		

※赤字は、令和５年度のカリキュラムを修正・追加した箇所です。

令和6年度　大館市　架け橋期のカリキュラム全体計画（2年生4月～3月）

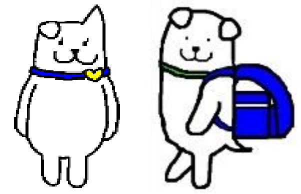
架け橋期に期待する子どもの姿

～周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども～

【知識及び技能の基礎】　豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、出来るようになったりする。

【思考力・判断力・表現力の基礎】　気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。

【学びに向かう力・人間性等】　できるようになったことや分かったことなどを実感し、自分の成長を認め、次の活動や体験への意欲をもつ。



▼幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）

ア：健康な心と体　イ：自立心　ウ：協同性　エ：道徳性・規範意識の芽生え
オ：社会生活との関わり　カ：思考力の芽生え
キ：自然との関わり・生命尊重　ク：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
ケ：言葉による伝え合い　コ：豊かな感性と表現

月	4・5	6・7・8	9・10・11・12	1・2・3
期	小学校２年　第１期	小学校２年　第２期	小学校２年　第３期	小学校２年　第４期
ねらい	・２年生になった喜びを感じるとともに、進級して役割が増えたことが分かり、意欲的に生活を送ろうとする。	・学級の目標や課題を自分のこととして捉え、自分なりの目標に向かって友達と励まし合って取り組む。	・学級の目標の実現や楽しい学校生活のために、自分の役割を意識しながら友達と協力して取り組む。	・友達との関わりの中で自他の成長に気付き、お互いのよさを生かしながら、活動や学習に取り組む。
身に付けたい資質・能力　知識及び技能の基礎	・気持ちのよい挨拶や言葉遣いなどが、自分も周りの人も明るくすることに気付き、実践する。（アエオ） ・新しい学習に興味をもち、聞き方・話し方、話し合いの仕方などの学習の約束を知り、進んで生かす。（イウエ） ・身近な自然と関わり、季節を感じる言葉や季節を表す言葉を見付けて伝え合うなどして言葉を広げる。（キケコ）　年間→ ・教科書のQR CODEを利用してデジタルコンテンツなど必要な情報をＷｅｂ検索し、分かったことを学習に活用する。（オケ） ・読書に親しみ、図書館の本の分け方や並べ方を知り、読みたい本を見付けて読もうとする。（オコ）	・食事や睡眠、運動などについて振り返り、健康や安全に気を付けて規則正しい生活を送る。（アイ） ・季節の言葉や詩、言葉遊びなどから語句の量を増し、話や文章の中で使いながら語彙を豊かにする。（ケコ） ・まち探検を通して、公共物の利用の仕方、緊急時の連絡方法、インタビューの手順など、必要な知識や技能を身に付ける。（オ） ・まち探検や野菜、生き物の生長の様子などをタブレットを使って写真や動画で記録し、活用する。（オキ） ・育てたい植物や生き物など、目的をもって本や図鑑を読み、調べたことや分かったことを友達に説明する。（オケ）	・善悪を判断して、よいと思うことを進んで行ったり気持ちのよい挨拶や言葉遣いを心掛けたりする。（アイエ） ・人物を表す言葉、物の様子や気持ちを表す言葉などを集め、感じたことや思ったことを伝えるときに活用する。（コ） ・数え歌やいろは歌などの長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の面白さや豊かさに気付く。（オコ） ・電話やビデオ通話、ファックス、電子メールなど、離れている人との通信手段を知り、大人と一緒に活用する。（オケ） ・進んで読書に親しみ、お気に入りの本や好きな場面などを紹介したり音読したりする。（ケコ）	・自分の生活や成長を振り返り、体の成長や役割が増えたことだけでなく、優しさや思いやり、我慢する心など、内面の成長にも気付く。（アイエ） ・世界の昔話や神話などを読んだり読み聞かせを聞くなどして、世界の文化や風土などに親しむ。（オコ） ・伝えたい人やことに適した表現方法（新聞、絵本、パンフレット、ポスター、劇、デジタルアルバム、デジタル図鑑など）を知り、発表に活用する。（カケコ） ・スキー遊びなどの冬の遊びの楽しさや喜びを味わい、自分の能力やめあてに適した技を身に付ける。（アイ）
身に付けたい資質・能力　思考力・判断力・表現力の基礎	・知りたいことを明確にし、大事なことを落とさないようにメモをとって聞いたり聞き返したりする。（オカケ） ・聞き手に伝わるように、話す速さや声の大きさ、語のアクセントなどに気を付けて話す。（オカケ） ・様子を思い浮かべながら、感じたことが聞き手に伝わるように語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。（オカケ） ・身近なことや経験したことなどから伝えたいことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして書き、伝え合う。（オカケ） ・育てている動植物の生長の様子を観察し、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えて観察記録文を書く。（カキケ）	・身近なことや経験したことなどから話題を決めて必要な事柄を選び、順序を考えて話す。（カケ） ・伝えたいことが明確になるように、事柄、時間、大切さの順序などに気を付け、簡単な組み立てを考えて文章を書いたり、読み返して間違いを直したりする。（オカケ） ・生き物を探したり飼育したりする活動を通して、生き物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって世話をする。（カキ） ・野菜の生長の様子を伝えるために必要な事柄（大きさや数、形、色、におい、手触りなど）に気を付けて観察し、絵や写真表やグラフなどの資料を作成して発表する。（カキクコ）	・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて、書いたり話したりインタビューしたりする。（オカケ） ・付箋や思考ツールを使って、考えを整理したり順序を考えたり、よりよい考えを選んだりする。（カケ） ・文の中における主語と述語の関係や共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係を考え内容を読み取る。（カ） ・身近な物を使って動くおもちゃを作り、遊びながら改良したりもっと楽しくなるように遊び方を工夫したりする。（カ） ・物語や曲などの表す情景を感じ取り、演奏、身体表現などの表現活動を楽しみながらよりよい表現に高める。（コ）	・１年を振り返り、伝えたい事柄に応じて、はじめ、中、終わりなどの組み立てを考え、順序よく発表する。（カケコ） ・丁寧な言葉に気を付けたり文と文との続き方を確かめたりしながら、お世話になった方や友達に手紙を書く。（エオケ） ・物語を読んで、感じたことや考えたことなどを友達と伝え合い、様々な感じ方や考え方に触れたり、友達の考えに質問したり感想を伝えたりして考えを深める。（カケコ） ・家族から聞いたエピソードや写真・動画、自分の作品などから自分らしさや自身の変容を実感し、適した材料を選んで工夫して作品にまとめる。（カケコ）
身に付けたい資質・能力　学びに向かう力・人間性等	・２年生で出来るようになりたいことや楽しみなことなどを伝え合い、生活や学習に意欲的に取り組もうとする。（イケ） ・クラスの目標や係活動について話し合い、楽しく生活するために自分の役割に進んで取り組もうとする。（イウオ） ・新１年生との遊びや学校探検などで、相手や場に応じた言葉遣いや表情などを考えて進んで関わろうとする。（イウオケ） ・運動会の目標を伝え合ったり、リレーなどの運動や応援の練習などに進んで取り組んだりし、誰とでも仲よく活動したり勝敗を受け入れたりしようとする。（アウオ）	・生活や学習を振り返って自分や友達のがんばりを伝え合い、これからの生活で努力したいことを具体的に考える。（イウケ） ・学級会の計画、話し合い、実践、振り返りなどの流れに見通しをもったり、話合いの役割を体験したりしながら、友達と協力して課題解決に取り組もうとする。（イウカケ） ・友達の発言に関心をもって聞き、さらに聞きたいことを質問し合って考えを引き出し、くわしく聞こうとする。（ウカケ） ・地域の様々な施設を利用したりインタビューしたりする活動を通して、地域の場所や人々に親しみをもち適切に利用したり相手や場に応じた行動をしようとする。（ウエオ）	・学級の困りごとを出し合って原因や解決方法を話し合い、みんなのためにできることをしようとする。（イウエ） ・学習発表会の話合いや練習を通して、お互いのよさを認め合い最後までやり遂げようとする。（イウオ） ・地域のよさを伝える活動を通して、地域の人々の思いや工夫が自分を支えていることに気付き、地域の人々と進んで交流しようとする。（ウオカ） ・１年生を招待しておもちゃで遊ぶ活動を通して、相手の立場になって遊びのルールを考えたり適切に接したりしようとする。（ウエオ）	・これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、３年生でも自分のよさや可能性を生かし、なりたい自分を目指して意欲的に生活しようとする。（ウオケ） ・これまでの生活を振り返り、男女に関係なく一人一人のよさを認め合い協力し合おうとする。（アイウ） ・他国の人々や言葉、文化などに触れ、進んで交流したり親しんだりしようとする。（イオ） ・「６年生を送る会」や卒業式の練習や準備を通して、６年生に感謝の気持ちをもち、心から伝えようとする。（ウエオ）
行事・活動など　☆交流　★職員の交流（C・F）	始業式　入学式　給食開始　避難訓練　地域訪問 PTA授業参観・懇親会　交通安全教室・下校指導　☆運動会 ☆1年生を迎える会　☆１年生との交流 ☆縦割り清掃班スタート集会	まち探検Ⅰ　水遊び・水泳　PTA授業参観・個人面談 終業式　始業式 夏休み ★市夏季研修会　★保育体験	まち探検Ⅱ　学習発表会　PTA授業参観 読書週間　施設訪問　終業式 ☆１年生とおもちゃで遊ぼう　冬休み ★小学校市教研総合研　☆幼保小中連携メディアコントロール週	始業式　避難訓練　スキー教室　節分　ひなまつり まち探検発表会　PTA授業参観・懇談会　☆6年生を送る会 英語に親しむ学習　チャレンジなわとび　卒業式 ★教職員研究実践発表会　修了式
○環境の構成　☆援助のポイント	☆ 進級の喜びを共有し、２年生の活動への期待を高めたり、思いや願いを引き出したりして、楽しく安心できる学級づくり、環境作りを工夫する。 ☆ 運動会やまち探検などの活動を通して、頑張っている姿や友達と協力している姿を価値付けし、意欲を高める。 ○ 架け橋カリキュラムを生かして、子どもたちの思いを基に、生活科を中心とした合科的・関連的な指導ができるよう、また、保護者や地域の先生など様々な人や対象とじっくりと関わりをもてるよう配慮して年間計画を立てる。	☆ 観察や探検の課題意識をもたせ、活動の見通しを立てたり友達と考えを比べたり、様々な表現方法を試したりする活動を意図的に設定し、思考力、表現力を育むようにする。 ☆ 野菜の観察やまち探検など、同じグループで気付きを共有したり比べたりしながら協力し合って活動できるように励ます。 ○ 生活科と道徳の時間とを関連させ、採集した生き物のかけがえのない命を大切にしようとする心情を育て、意欲的に世話や観察を継続できるようにする。	☆ 学習発表会や地域探検の発表など共通の目的に向かって活動することを通して、目的や考えを友達と共有し協力して創り上げる体験をもてるようにする。 ☆ 幼児や１年生、地域の方々など、多くの人たちと関わることで、相手の思いを受け止めて適切な言葉を選んだり優しく接したりできるようにする。 ○ 友達と話し合って考えをまとめたり、試行錯誤したり、振り返ったりする時間を十分に保障し、課題解決した満足感や達成感をもてるようにする。	☆ 様々な人たちとの関わりを振り返り、支えてくれた人たちへの感謝の気持ちをもたせられるようにする。 ☆ 入学してから２年間を振り返り、一人一人の成長を表すのに適した内容や方法を選び、自分の成長に誇らしい気持ちで作品作りや発表ができるようにする。 ☆ ３年生の学習や生活の様子を参観したり、３年生にインタビューしたりして、進級への期待を高める。 ○ ２年間の成長に気付き、自分や友達のよさを実感できるように、子どもの作品やカード、写真などを掲示する。
家庭との連携	・学校の方針や架け橋カリキュラムなどを基に、２年生の発達の特徴や目指す姿、重点施策等について伝え、理解を得る。 ・１年間の予定や１週間毎の具体的な予定を丁寧に伝え、保護者が見通しをもてるようにする。 ・連絡帳や通信などで子どもの様子を伝え、保護者が安心できるようにするとともに、家庭でも話題にし、褒めたり認めたりしてもらえるようにする。	・２年生としての役割をもって頑張っていることやできるようになったこと、課題になることを具体的に伝える。 ・規則正しい生活習慣やメディアコントロール、読み聞かせや音読、家庭学習などを継続する大切さを啓発していく。 ・生活科のまちたんけんや野菜の栽培活動などのねらいを伝え、学習ボランティアへの協力をお願いする。	・２学期始まりの準備物や生活リズムの回復について、協力をお願いする。 ・生活科「まちのすてきをつたえよう」の発表会への参加と、達成感、満足感につながる感想をお願いする。 ・子どもたちの活動や成長の様子を作品や写真、動画などで具体的に伝え、家庭でも話題にし、褒めたり認めたりしてもらえるようにする。	・キャリアノートを活用して子どもの成長を保護者と共有し、自信をもって進級できるようなコメントをお願いする。 ・３年生の発達の特徴や課題について説明し、自己有用感や自立心を高める関わり方を考えてもらうようにする。 ・３年生で新しく始まる教科や学習用具について丁寧に説明し、子どもと一緒に確認しながら、進級に向けての準備をしてもらうようにする。

令和6年度　城西小学校区　架け橋期のカリキュラム全体計画（5歳児　4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿

大　館　市　　周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども

城西小学校区　　豊かな体験を通して、学ぶ喜びや楽しさを実感し、仲間と幸せを分かち合う子ども

本気ッズくん

＜共通の視点＞
言葉で伝え合う力
共感・協働する力

城西小学校区
城西小学校
大館ホテヤこども園
大館ホテヤ第二こども園
宮の杜神明こども園

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
期	5歳児　第1期			5歳児　第2期			5歳児　第3期			5歳児　第4期		
ねら♥重い点	・年長としての**意欲と自信をもち、自分の力を十分に発揮**しながら安心して生活する。			・友達と**思いを伝え合いながらイメージを共有し、力を合わせて**遊びや生活を進めていく中で仲間意識を高める。			・友達と一緒に考えたり、話し合ったり、**折り合いを付けたりしながら共通の目的に向かって**遊びや生活を進める楽しさを味わう。			・自分や友達のよさが分かり、**認め合ったり受け入れ合ったりしながら、協力して**遊びを進める楽しさや**やり遂げる満足感**を味わう。		
小学校区で目指す子どもの姿　知識及び技能の基礎	♥**自分のしたことや思ったことを相手に話そうとする。** ・絵本や物語、紙芝居、言葉遊びなどに親しみ、言葉の楽しさや美しさに気付き、言葉を豊かにする。			♥**自分のしたいことや思ったことを相手に伝え、話し合おうとする。** ・草花遊びや色水遊びなどを通して、草花や色の名前などに興味をもって調べ、言葉が広がることを楽しむ。			♥**自分がしたことや思ったことを話そうとし、相手の話を聞こうとする。** ・時計や記名など、文字や数字に親しみ、生活する上で必要な情報が分かることを喜ぶ。			♥**思ったことや考えたことを相手に分かるように話すとともに相手の話に興味をもって聞く。** ・園生活を振り返り、今まで経験したことや友達と協力した思い出などを言葉で伝え合い、成長した喜びを味わう。		
思考力・判断力・表現力の基礎	♥**リレー遊びやドッジボールなどのゲームを楽しくするために、作戦やルールを話し合って工夫する。** ・絵本や物語に親しみ、気付いたことや感想、想像したことを友達と伝え合うことを楽しむ。			♥**ごっこ遊びや共同製作などで友達とイメージを伝え合い、共有しながら表現する喜びを味わう。** ・遊びの目的に沿って時間をうまく使ったり、場所や道具を選んだりして、自分たちで遊びを進める。			♥**遊びや生活を振り返って楽しかったことや困ったこと、明日やりたいことなどを言葉で伝え合う。** ・絵本や物語に親しみ、気付いたことや想像したことを友達と伝え合ったり情景や心情のイメージを広げて遊びに取り入れたりする。			♥**様々な人との関わりの中で刺激を受けながら自分の見方や考え方を広げる。** ・身近な事象と関わる中で、変化や仕組み、法則性などに気付き、調べたり確かめたり工夫したりの試行錯誤を楽しむ。		
学びに向かう力、人間性等	♥**ルールのある遊びの中で、友達と競い合ったり応援したりして遊ぶ。** ・すすんで挨拶を交わしたり「ありがとう」「ごめんなさい」の気持ちを心をこめて伝える。			♥**園の行事などに向けてやりたいことを決め、目的が達成できるように話し合ったり協力し合ったりする。** ・トラブルを通して、葛藤を味わったり気持ちを調整したりすることを繰り返し、相手の思いに気付く。			♥**遊びや生活を進めながら友達と協力し合い、仲間意識を高める。** ・考えを伝え合ったり相談したりしてイメージや目的を共有し、遊びや生活をつくる。			♥**友達のよさや一緒に遊ぶ楽しさを感じながら共通の願いや目的を実現させる喜びを味わう。** ・園生活やクラスの自分の役割を果たそうとし、役に立つ喜びを味わう。		

共通して充実を目指す活動・体験

言葉で伝え合う力

みんなに伝えよう

〈朝の会・帰りの会〉
- 当番が進行したり質問したりして伝え合いを楽しむ。
- 名前や朝ご飯に食べた物など自分のことをみんなに伝える。
- 絵本の内容や連絡をクイズ形式で聞いて、答える。
- 「ぼくは、わたしは、～です。」の話形を覚えて使う。

〈かがやきタイム〉
- 興味をもったことを友達や先生に伝える。
- 友達の話に「いいね。」と反応したり、共感する意見を話したりする。

〈そうだんタイム〉
- 困っていることや先生、友達に聞いてみたいことを伝えようとする。

＜朝の会・帰りの会＞
- 今日うれしかったこと頑張ったこと、明日頑張りたいこと、教えてもらいたいことなど を発表する。
- 友達の話を静かに聞いたり、認めたりする。

＜かがやきタイム＞
- 自分の頑張りや友達のよさを伝え合う。
- 困っていることや先生、友達に聞いてみたいことを伝え合う。

みんなの力を合わせよう

○最年長になった喜びと意欲をもち、友達や年下の子どもたちと親しみをもって関わる。

＜入園式・進級の会＞
- 年長になった喜びをみんなと伝え合う。
- 入園のお祝いメッセージをみんなの前で発表し自信をもつ。
- 年長児として、年下の子どもたちと遊んだり手伝ったりして関わりながら、思いやりの気持ちや自信を深める。

＜当番活動・クラス活動＞
- 年長としての役割を覚え友達と教え合って取り組む。
- 順番や必要な道具・用具を考え、みんなで準備したり確認したりする。
- 係を決めて、給食の運搬や配膳をする。
- 園行事やお誕生日会などの司会を務める。
- みんなの役に立つ喜びを味わう。

○園の行事などに向けて、自分たちでやってみたいことを話し合い、実現に向けて協力し合って進める。

＜運動会・お泊まり会など＞
- やってみたいゲームや競技、レクリエーション等の活動を話し合い、必要な物を準備する。
- お泊まり会で必要な食材などを分担して買い物に行く。
- 楽しくするために大切なマナーやルールを考え守ろうとする。
- 活動を振り返り、友達と協力し合って活動を進める楽しさや達成感を味わう。

なかよく遊ぼう

○相手の思いや考えに気付き、受け入れたり共感し合ったり、自分の気持ちをコントロールしたりしながら遊びを進める体験をする。

＜製作・自由遊び・自然とのふれあい＞
- 進んで戸外に出て十分に身体を動かして伸び伸び遊ぶ。
- 草花や虫、風などの身近な自然に触れて不思議さを感じ、観察したり調べたりして、関心を深める。
- 水や土などの感触や色水の変化など気付いたことを友達と伝え合い共感し合う。
- 身近な素材や用具を使って工夫して作り、作った物を遊びに取り入れることを楽しむ。

＜ルールのある遊び＞
- 友達同士でルールや遊び方、作戦などを話し合い、試したり工夫したり教え合ったりして遊ぶ。
- 回数を数えたり勝敗の記録を工夫したりして、目標を達成する喜びや満足感を味わう。
- 遊びの楽しさや勝敗のうれしさ悔しさを体験し、友達と共有し合う。
- 安全に遊べるように友達と声をかけ合い、約束を守って遊ぶ。

共感・協働する力

みんなで協力してやりとげよう

○共通の目的に向かって、友達とアイディアを伝え合い、お互いのよさを認め合いながら役割を分担し、工夫したり協力したりしてやり遂げる。

＜おゆうぎ会・発表会＞
- 発表内容や台詞、背景、道具などの役割分担を考えて話し合い、イメージをやり取りしながら準備を進める。
- 困っている友達にアドバイスしたり、お互いに教え合ったりする。
- 自分と違う友達の考えを受け入れたり、折り合いを付けたりする。
- 場面や踊り毎に発表を見合って、友達のがんばりやよさを認め合ったり、もっとよくしたいこと等を伝え合う。
- 友達と協力して成功させる喜びや協力してやり遂げる達成感を味わう。

＜製作・自由遊び・自然とのふれあい＞
- 身近な秋の素材を生かして作りたいもののイメージを伝え合ったり、遊び方やルールを話し合ったりしながら作った物で遊ぶ。
- 素材の特徴や性質を生かして、試したり工夫したりしながら遊ぶ。
- 地域の生活に関係の深い行事や文化を取り入れながら遊びを展開する。

＜当番活動＞
- 園全体の行事の司会を務める。
- どんな係があったら楽しくなるか考えて、協力して挑戦してみる。
- ５歳児としての仕事を４歳児にも分かるように伝える方法を考える。
- みんなのがんばりを認め合い、誰かの役に立つ喜びを味わう。

＜ルールのある遊び＞
- チーム分けや遊び方、作戦などを話し合い、友達と競い合ったり応援し合ったりして、目的に向かって協力し合う充実感を味わう。
- 友達の関わりの中で、異なる相手の気持ちに気付き、言葉で伝えたり考えたりしながら気持ちに折り合いを付けて遊ぶ。
- 勝敗に対し、喜んだり悔しがったりする一体感を味わう。
- みんなの力で一つのことを成し遂げる充実感を味わう。

感謝を伝えよう

○園生活を振り返って自分たちの成長の喜びを感じ、お世話になった人たちへの感謝の思いを伝える。

＜お別れ会・卒園式＞
- 園生活を振り返り、楽しかった思い出を伝え合い、大きくなった喜びを感じる。
- どんなことをすれば、感謝の気持ちを伝えられるか話し合い、協力してやり遂げる。
  - ◇感謝の気持ちを言葉や歌で伝える。
  - ◇お世話になった先生や友達・異年齢児家族にプレゼントを製作して渡す。
  - ◇園内やクラスをきれいに掃除したり飾り付けしたりする。
- 友達と協力し合いながら取り組む楽しさや達成感を感じる。
- 小学校でやってみたいことを絵や言葉で伝え合い、期待をもつ。

行事・FC☆こどもの交流

入園式　避難訓練（通年）　参観日　運動会　就学時健診　発表会　クリスマス会　豆まき　ひなまつり

進級の会　交通安全教室（通年）　登山・遠足　七夕会　スイミング　☆1年生との交流　☆体験入学　お別れ会

参観日　お泊まり会　幼保小中連携メディアコントロール週間　★生涯学習フェスティバル展示　シャッフル給食　卒園式

職員の交流他

小学校１年生の授業参観・情報交換会　幼保小連携推進会議　保育体験　市夏季研修会　小学校市教研総合研への参加　保育参観　教職員研究実践発表会　情報交換会　★要録・個別の教育・保育支援計画の送付

架け橋調査研究委員会・カリキュラムの見直し　幼保小担任研修会

○☆環境の構成のポイント

☆ 年長になった喜びや緊張を受け止め、目標をもって意欲的に取り組む姿を認めながら自信をもって自分らしさを発揮できるように励ましていく。

○ １日の生活の流れを時計とともに表示し、活動の見通しがもてるようにする。

○ 子どもが遊びを継続し、満足感や達成感を得られるように、新しい素材や道具などを子どもと一緒に考えて用意したり、場所や時間を十分に保障したりする。

☆ 友達と協力したり競い合ったりして活動する中で、繰り返し挑戦したり試したりしようとしている姿を丁寧に読み取り、認めたり紹介したりする。

☆ お互いの思いやイメージを出し合いながらよりよい方法で遊びを展開できるように、考えを受け止めて言葉にしたり視覚化したりしながら、考えを引き出す援助をする。

○ 遊びの楽しさや工夫を交流したり、お互いのよさを認め合ったりするために、遊びの振り返りの時間を保障する。

☆ 共通の目的に向かって試行錯誤しながら実現に向かう場面を大切にし、それぞれの持ち味を発揮したりお互いによさを認め合ったりしながら協力し合うことができるような言葉掛けをする。

○ 一人一人の興味・関心に応じた絵本との出会いを大切にし、絵本に親しむ環境を工夫する。

○ 四季の変化や自然の美しさ、不思議さを感じられる体験、知的好奇心を満たす遊びや環境を工夫する。

☆ 今までの経験を生かして、心と体を十分に働かせて自分たちで遊びを進める姿を認め、満足感をもてるようにする。

☆ 子どもと一緒に園生活を振り返りながら、５歳児としての役割をやり遂げた達成感や自他の成長への喜びを共有し、自信をもって行動できるようにしていく。

○ 卒園に向けて、自他の成長に気付いたり、お世話になった方々への感謝の気持ちをもったりできるような環境を工夫する。

家庭との連携

- 子どもの園での様子を伝えたり、家庭での様子や発育上心配なことを聞いたりしながら、保護者の思いを受け止めるとともに、信頼関係を築いていく。
- 年長として意欲と自信をもって生活している姿を伝え、子どもの成長をともに喜び合ったり考えたりして支えていく。
- 年間の行事予定やそれをリードする年長児としての役割を伝え、理解と協力を得る。

- 遊びの様子や行事などの参観、懇談を通して、「どのような育ちを願い、どんなを経験をさせたいか」、子どもの変容を伝えながら成長を共有していく。
- 遊びや生活の中でのトラブルが成長につながることを伝え、様子を伝えながら理解を得るようにする。
- 早寝・早起き・朝ご飯や絵本の読み聞かせの大切さを伝え、理解と協力を得る。

- 就学時健康診断を機会に、入学までに身に付けたい習慣や力について話題にしていく。
- 就学に向けての心配や不安を受け止めて、安心して就学できるように子どもへの関わりを一緒に考えるとともに、必要な情報を提供し相談できる機会や場につなぐ。場合によっては小学校と情報を共有する。
- 就学に向けて、起床、就寝、食事、メディア使用の時間を見直し、規則正しい生活を送れるように協力をお願いする。

- 卒園式、入学式までの予定などの情報を提供し、見通しをもって準備できるよう、また不安がないように支援する。
- 子どもの頑張りやよさについて伝え、成長の喜びを共有し、自信と期待をもって入学できるような励ましや言葉掛けをお願いする。

令和6年度　城西小学校区　架け橋期のカリキュラム全体計画（1年生4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿

大　館　市　　周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども

城西小学校区　豊かな体験を通して、学ぶ喜びや楽しさを実感し、仲間と幸せを分かち合う子ども

本気ッズくん

＜共通の視点＞
言葉で伝え合う力
共感・協働する力

城西小学校区
城西小学校
大館ホテヤこども園
大館ホテヤ第二こども園
宮の杜神明こども園

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
期	小学校１年　第１期	小学校１年　第２期			小学校１年　第3期					小学校１年　第4期		

ねら♥重い点	・小学校の生活や新しい学習に興味をもって取り組み、**学級の友達や上級生、先生と進んで触れ合い**、楽しく、安心して生活する。	・小学校の生活や学習に**見通しをもって取り組み、目的や学ぶ楽しさを友達と共有**し、**意欲的に**活動や学習に取り組む。	・たくさんの友達との関わりの中で、**相手の思いや願いを感じながら自分の思いを表現し、主体的に**活動や学習に取り組む。	・自分や友達の成長に気付き、**お互いに認め合い、相手の気持ちを尊重しながら、自信をもって**活動や学習に取り組む。
小学校区で目指す子どもの姿　知識及び技能の基礎	♥**したことや見付けたことなどを、姿勢や口形、発声や発音に気を付けてはきはきと話す。** ・楽しく生活するために大切なこと（元気のよい返事や気持ちを込めた挨拶等）のよさを実感し、進んで実践する。	♥**話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを、落とさないように注意して聞く。** ・学校生活のリズムが身に付き、活動に見通しをもって準備したり約束やルールを守って行動したりする。	♥**友達の話を聞いて、質問や感想を伝えたり、相手の発言を受けて話しをつないだりする。** ・身近なことを話す語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにする。	♥**学習の見通しをもって、積極的に友達の話を聞き、質問や感想を述べて学習をつないでいく。** ・できるようになったことや、学級や家庭での役割が増えたことなど、自分の成長に気付く。
思考力・判断力・表現力の基礎	♥**学級の友達と一緒に活動する楽しさや様々な考えに触れる喜びを味わう。** ♥**学び合いの約束を生かして自分の思いを表現したり友達と伝え合ったりする。**	♥**自分の伝えたい相手に応じて言葉や方法を選んだり、事柄の順序を考えたりして話す。** ・経験したことや身に付けたことを活用したり友達の見方や考え方を取り入れたりしながら課題を解決する。	♥**伝えたいことの順序に気を付けて分かりやすく伝えたり、理由を付けて説明したりする。** ・既習を活用したり、ペアやグループで相談したりして、よりよい考えを見付ける。	♥**これまでの学習や経験を生かし、事柄の順序に沿って話したり書いたりする。** ・新しい1年生に学校のことをわかりやすく伝えるために、方法を工夫する。
学びに向かう力・人間性等	♥**相手の気持ちを考えたり自分の行動を振り返ったりして、気持ちを調整しながら楽しく生活しようとする。** ・新しく出会う先生や友達と一緒に活動する楽しさを感じながら進んで関わろうとする。	♥**友達と一緒に活動する中で、お互いを理解し、連帯感や所属感を深める。** ・学校を支えている方々や地域の方などいろいろな人と関わることを楽しみ、地域への親しみを深める。	♥**友達のよいところを見付けて、お互いのよさを認め合い、温かい学級をつくろうとする。** ・友達や家族、地域の方に感謝し、みんなの役に立つ喜びを感じながら自分の役割を果たそうとする。	♥**自分のよさや友達のよさに気付き、互いに認め合って、得意なことを生かしながら役割を果たしていこうとする。** ・「6年生を送る会」や卒業式、修了式の準備や練習を通して異学年の児童や家庭、地域への感謝の気持ちをもつ。

共通して充実を目指す活動・体験

言葉で伝え合う力

みんなと伝え合おう

＜朝の会・帰りの会＞
・元気に挨拶したり、みんなと仲よく歌ったりしながらクラスの一体感を味わう。
・自分の頑張りや楽しかったこと、友達のよさを発表する。

＜かがやきタイム＞
・学習を振り返り、学んだことや友達のよさ、もっと考えてみたいことなどを伝え合う。

〈なかよしタイム・本気ッズタイム〉
・自分の考えを言葉や図に表し、友達と考えを伝え合う。
・自分とは異なる友達の考えも認め、よりより考え方を

どうぞよろしく

○新しい友達と思いを伝え合ったり、進んで関わったりする。
・自分の好きな物や得意なことなど、伝えたいことを考えて自己紹介カードを作り、友達と交流する。
（国語「どうぞよろしく」「なんていおうかな」）
・歌ったり踊ったりしながら友達と交流し合う。
（音楽「うたでおどってなかよくしよう」）
・楽しく生活するためのルールやマナーを話し合い、守って友達となかよく遊ぶ。
（生活「みんななかよくなりたいな」）
・学校生活で楽しみなことを発表し合う。
（道徳「がっこうだいすき」）
・友達と仲よくすることのよさや助け合うことの大切さを考えすすんで関わる。**（道徳「なかよくね」）**

学校　大すき

○学校の施設や友達、先生に関心をもって交流したり調べたりして、見付けたいことを伝え合う。
（生活「がっこうのことがしりたいな」「学校たんけんをしよう」）
・場に応じた挨拶や言葉遣いを考え、伝え合う。
（国語「なんていおうかな」）
・探検して見付けたことを友達と絵や言葉で伝え合う。
（生活「学校でみつけたことをつたえよう」
国語「こんなものみつけたよ」）
・学校にいる人たちと繰り返し関わり、自分たちを支えてくれている人がいることに気付く。
（生活「学校にいる人たちとなかよくなろう」）

みんななかま

○友達と遊び方やルールを考えて伝え合い、工夫したり協力し合ったりして遊ぶ。
・遊具や自然を使った遊びを考え、ルールやマナーを守って仲良く遊ぶ。
（生活「こうえんであそぼう」）
・水を使った遊びを考え、友達と比べたり試したり繰り返したりして工夫して遊びながら、水の性質の不思議さに気付く。
（生活「みずであそぼう」）
★年長児との交流活動
・友達の話に応答したり、感想を伝えたりする。
（国語「よくきいてはなそう」）
・自分や友達のよさを見付けて認め合う。
（道徳「みんなじょうず」）

フェスティバルにむかって

○城西ふれあいフェスティバルに向けて内容や役割などを話し合い、協力し合って創る。
（学校行事「城西ふれあいフェスティバル」）
・フェスティバルの目標や発表の内容、役割等を話し合って決める。
（学活「フェスティバルに向かってがんばろう」）
・劇の登場人物のセリフや動きを話し合い練習する。
（国語「おはなしをたのしもう」）
・背景や大道具、小道具など、必要な物を話し合い、資料などから情報を集めたり友達と分担したりして協力して作る。
（図工「はって　かさねて…」）
・活動を振り返り、認め合う。

あきのおもちゃフェスティバルをつくろう

○身近な秋の自然と関わり、それを生かして遊びながら夏との違いに気付き友達と伝え合ったり、年長児との遊び方を工夫して進んで関わったりする。
生活「たのしいあきいっぱい」～いっしょにあそぼう～
・校庭や公園で秋の素材を集めたり、遊んだりする。
・木の実や葉などでおもちゃを作って遊ぶ。
・年長児が楽しめるおもちゃを工夫して作る。
・遊び方やルールを工夫し、楽しく遊べるように考える。
・年長児への説明の仕方を工夫し、分かりやすく伝える。
・年長児に楽しんでもらえるような話し方や接し方を考えて進んで関わる。
・活動を振り返り、お互いのがんばりやよさを認め合い自分自身の成長に気付く。

みんなでハッピーになろう

○１年間の学習や生活を振り返り、自分や友達のできるようになったことなどに気付き、２年生への期待や意欲をもつ。
・新しい１年生を招待し、学校のことを教えたり一緒に遊んだりする。
・新しい１年生のために教室をきれいにしたり、絵日記や飾りを作ったりする。
（生活「もうすぐ２年生」）
・楽しかった思い出を絵日記に書き伝え合う。
（国語「いいことといっぱい１年生」）
・お世話になった方や家族などに手紙を書く。
（道徳「みんな　みんな　ありがとう」）
・１年生のお楽しみ会を計画して実践し、次の学年への意欲を高める。
（学活「お楽しみ会をしよう」）
・春休みを安全に楽しく過ごすにはどのようにしたらよいか考え、実践する。
（学活「春休みを楽しく過ごそう」）

共感・協働する力

自分の役割をやり遂げよう

○自分に出来ることを考えて友達と協力し合いながら進んで活動し、みんなのために役に立つ喜びを感じる。〈ハッピータイム〉
・学級の係活動　・給食当番活動（学活）　・ハートアップタイム　・縦割り班活動　・清掃活動（児童会活動）　・スペシャル休み時間(地域交流)　・夢授業（年３回　生活科）　・6年生を送る会（児童会活動）

○お世話になった６年生への感謝の気持ちを伝えるために、どんなことを発表するか話し合い、協力し合って準備や練習をする。
（学活「６年生を送る会の準備をしよう」）

行事・FC☆こどもの交流

入学式　1年生を迎える会　学校探検　給食開始　運動会　地域訪問　ことばとまなびの小テスト　PTA授業参観・個人面談　始業式　城西ふれあいフェスティバル　終業式　始業式　☆体験入学　６年生を送る会
PTA授業参観・懇談会　☆年長児との交流　終業式　秋の校外学習　☆年長児との交流　スキー授業
縦割り清掃班スタート集会　交通安全教室・下校指導(オレンジ隊)　下校指導(オレンジ隊)～２月　夏休み　就学時健診　冬休み　卒業式　修了式

職員の交流他

就学前施設職員授業参観・懇談会参加　幼保小連携推進会議　幼保小担任研修会　保育体験　夏季研修会　授業参観　情報交換会　幼保小中連携メディアコントロール週間　小学校市教研総合研への参加　教職員研究実践発表会　情報交換会　要録・個別の教育・保育支援計画の活用

○☆環境の構成・援助のポイント

☆ 入学した喜びを共有し、意欲的に取り組もうとする姿を認め励ましたり、子どもの話を共感しながら聞いたりして、温かな安心できる学級づくりを工夫する。
☆ 幼児期とのつながりを考慮し、幼児期に親しんだ活動を取り入れ、自信をもって活動できるようにする。
○ 子どもの思いを汲み取りながら、一人一人が安心感をもち落ち着いて生活、学習できるように一緒に環境を工夫していく。
○ 生活科を中心とした関連的な指導を行ったり弾力的に時間割を工夫したりする。

☆ 具体的な体験を通して、伝え合う、交流する、試行錯誤や繰り返す活動を保障し、お互いのよさやそれぞれの気付きを共鳴させるようにする。
☆ 運動会などの取組を通して、頑張っている姿や友達と協力している姿を価値付けし、意欲を高める。
○ 登下校や縦割り班活動、運動会、ふるさとキャリアの活動などへの取組を通して、地域の方々や他学年との関係づくりをするとともに、様々な人に支えられていることに気付けるようにする。

☆ 学級集会や城西ふれあいフェスティバルなど、共通の目的に向かって活動することで、思いを伝え合い協力して創り上げる体験をもてるようにする。
☆ 縦割り班や異学年の子ども、幼児、高齢者など、関わりを段階的に広げ多くの人と交流することで、相手意識をもって行動できるようにする。
○ 友達と話し合って考えをまとめたり、試行錯誤したり、振り返ったりする時間を十分に確保し、満足感や達成感をもてるようにする。

☆ 体験入学では新１年生が入学を楽しみにするような活動を工夫できるようにする。
☆ 「ありがとうカード」や「なの花カード」を交換し、お互いのよさを実感できるようにする。
☆ 各教科を通して、１年間の成長を認め、２年生の学習や生活への意欲を高める。
○ １年間の成長に気付き、自分や友達のよさを実感できるように、子どもの作品やカード、写真などを掲示する。

家庭との連携

・学校の方針、１年生の目指す姿やスタートカリキュラム、重点施策等について伝え、理解を得る。
・１年間の予定や１週間毎の具体的な予定を丁寧に伝え、保護者が見通しをもてるようにする。
・連絡帳や通信などで子どもの様子を伝え、保護者が安心できるようにするとともに、家庭でも話題にし、褒めたり認めたりしてもらえるようにする。

・子どもの頑張っていることやできるようになったこと、課題になることを具体的に伝える。
・規則正しい生活習慣づくりやメディアコントロール、読み聞かせや音読、家庭学習など、継続する大切さを啓発していく。
・学校行事や学年の活動、ＰＴＡ活動などの保護者ボランティアの教育的価値を伝えて協力をお願いする。

・２学期始まりの準備物や生活リズムの回復について、協力をお願いする。
・生活科「じぶんでできるよ」のねらいや内容を丁寧に伝え、継続してお手伝いに取り組めるよう協力をお願いする。
・子どもたちの活動の様子や頑張っている姿を伝え、家庭でも褒めたり認めたりしてもらえるようにする。

・子どもの成長について、家庭でも褒めたり認めたりしてもらうようお願いする。
・自信をもって進級できるように、子どもが自分では気付かない内面の成長についても気付かせてもらうようにする。
・生活リズムや持ち物など、子どもと一緒に話し合ったり確認したりしながら、進級に向けての準備をしてもらうようにする。

令和6年度　釈迦内小学校区　架け橋期のカリキュラム全体計画（5歳児4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿　大館市　周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども

釈迦内小学校区

前向きな心	夢や目標をもち進んで学ぶ子ども（ドリームグリーン）
美しい心	自分も友達も大切にし協力し合う子ども（ビューティフルブルー）
挑戦の心	あきらめずに挑戦し、やりとげる子ども（チャレンジレッド）（チアイエロー）

＜共通の視点＞
思考力
協同性
自立心

釈迦内小学校区
釈迦内小学校
向陽こども園
釈迦内保育園

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
期	5歳児　第１期			5歳児　第２期			5歳児　第３期			5歳児　第４期		
ねらい	・年長としての**意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮**しながら安心して生活する。			・友達と**思いを伝え合いながらイメージを共有し、力を合わせて**遊びや生活を進めていく中で仲間意識を高める。			・友達と一緒に考えたり、話し合ったり、**折り合いを付けたりしながら共通の目的に向かって**遊びや生活を進める楽しさを味わう。			・自分や友達のよさが分かり、**認め合ったり受け入れ合ったりして協力して**、遊びを進める楽しさや**やり遂げる満足感**を味わう。		
小学校区で目指す子どもの姿　進んで学ぶ子ども（前向き力）	・鬼ごっこやリレー遊びなどのゲームを楽しくするために、作戦やルールを話し合って工夫する。 ・絵本や図鑑に親しみ、気付いたことや感想、思ったことを友達と伝え合うことを楽しみ、遊びに取り入れる。			・収穫した野菜やひまわりの種の数を数えたり、大きさや重さを比べたりしながら、大きい・小さい、多い・少ない、重い・軽いなどの言葉の意味を実感する。 ・遊びの目的に沿って時間をうまく使ったり、場所や遊具を選んだりして、友達と思いを伝え合いながら遊びを進める。			・こども園や保育園の年長児や１年生との交流を通して、体験したことや自分の思いを保育者や友達とやり取りしながら遊びを広げる楽しさを味わう。 ・絵本や物語に親しみ、気付いたことや想像したことを友達と伝え合ったり情景や心情のイメージを広げて遊びに取り入れたりする。			・冬の自然に触れ、季節の変化や不思議さに気付いたり、気付いたことを遊びに取り入れたりする。 ・遊びや生活の中で、必要な材料や道具を選んだり文字や数字等を取り入れたりしながら、思いやイメージを友達と伝え合うことを楽しむ。		
協力し合う子ども（協同性）	・運動会に向けて遊んだり活動したりする中で、友達と協力し合ったり、応援し合ったりして行事を楽しむ。 ・他の友達が遊んでいることに興味や関心をもち、協力し合うことでそれぞれの遊びをクラス全体で楽しむ。			・友達と互いの思いや考えを共有し、行事や遊びの中で目的が達成できるように話し合ったり協力し合ったりする。 ・トラブルを通して、思い通りにいかない葛藤を味わったり気持ちを調整したりすることを繰り返し、相手の思いに気付きながら仲間としてのつながりを深める。			・遊びの中で友達の思いに気付いたり、自分の思いを伝えたりしながら共通の目的に向かって協力し合う楽しさを味わう。 ・ゆうぎ会・おたのしみ会に向けて、友達とアイディアを出し合ったり励まし合って取り組んだりしながら、一つのことに向かう充実感を味わう。			・遊びや生活の中で、嬉しかったことや悲しかったこと、できるようになったことなどを友達と伝え合って共有したり、共感し合ったりする喜びを味わう。 ・卒園に向けて、卒園式の歌やお別れの言葉等を友達と話し合い、役割を分担したり協力し合ったりしながら創り上げることを楽しむ。		
あきらめずに挑戦する子ども（自立心）	・年長になったという自覚を持ち、園生活の流れに見通しをもって自分らしさを発揮する。 ・様々な行事に向かったり運動遊びに取り組んだりする中で、自分なりの目標を立ててあきらめないで挑戦しようとする。			・身の回りのことや当番活動に進んで取り組み、自分たちで生活を進めようとする。 ・プール遊びや水遊びなど、体を動かす遊びに繰り返し挑戦し、できるようになった達成感を味わい、様々な運動遊びに挑戦しようとする。			・当番活動などで、自分たちにできることを見付け、生活や遊びを自分たちで進めていく楽しさや充実感を味わう。 ・縄跳びや運動遊び等で、自分の目標を立て、できるまで挑戦することの楽しさや達成感を味わう。			・生活や遊びに見通しをもち、使う物を進んで準備したり整えたり、片付けたりする。 ・園生活や年長組での生活を振り返って、自分や友達の成長に気付き、自信をもって小学校に進もうとする。		

共通して充実を目指す活動・体験

＜さくらタイム＞（イウカケコ）　遊びや活動を振り返り、明日の遊びにつなげる。

＜みんなで力を合わせよう＞（アイウカ）
・運動会に向けてのリレー遊びや鬼ごっこ等の中で、ルールや作戦を話し合い、いろいろ試したり応援し合ったりしながら楽しむ。
・園のリーダーとしての役割に気付き、目標に向かって友達と協力し合い、楽しみながら行事に参加する。

★＜なつをたのしもう＞（アイウエカクケ）
・身近な植物などを活用して色水遊びを楽しむ。
・できた色水からごっこ遊びなどに広げていく。
・予想したり試したりして工夫して遊ぶ。
・園のプールで友達と遊び方を工夫する。
・小学校のプールで１年生と交流し、１年生と一緒にいろいろな遊びに挑戦する。

＜みんなで進めよう＞（ウカカケ）
・夕涼み会やおまつりごっこを楽しくするために友達と考えを出し合って進めていく。
・困ったことやもっと工夫したいことを振り返り、協力して準備する。
・年下の子どもたちを喜ばせるような出店や関わり方を考え、工夫する。

★＜ひまわり活動＞（アイウオキクケ）
・ひまわりの収穫や種取りを小学生や地域の方と一緒に行い、自分たちも地域の中でできることがあることに気付く。
・ひまわりの種を数えたり、大きさや重さを比べたりして数量の言葉の意味を知る。

★＜たのしいあきいっぱい＞（オカキケ）
・秋の自然物（どんぐり、松ぼっくり、栗、とちの実、柿の実、小枝など）を遊びに取り入れながら、季節の変化に関心をもつ。
・作りたいもののイメージを友達とやり取りしたり考えたりして作り、ごっこ遊びなどに発展させる。
・生活科「あきまつり」に向けて、１年生と一緒に材料を集めたりおもちゃを作ったりしてやり取りしながら活動することを楽しむ。
・「あきまつり」での遊びを園でも取り入れて、友達といろいろな表現を工夫しながら遊ぶ。

★＜ふゆをたのしもう＞（ウオカケ）
・山登り、ソリ遊び、雪合戦、かまくら作り等、気温の変化による雪質の変化や自然の不思議さに気付きながら、友達と思いきり体を動かして遊ぶ。

＜お正月を楽しもう＞（ウオカクケ）
・かるた、すごろく、コマ回し、トランプ等のルールを友達と教え合い理解しながら、友達と伝承遊びを楽しむ。

★＜小学校の図書室に行こう＞（カクコ）
・小学校の図書室に行って本を借りたり１年生や図書係と交流したりすることで、小学校の生活に期待をもつ。
・園の本や小学校の本を読んだり読んでもらったりして、お話に興味をもち、感想を伝え合う。

＜一緒に遊ぼう＞（アウエキケ）
・虫探しや、春の自然物（つくし・フキノトウ・さくら・タンポポなど）を遊びに取り入れ、料理ごっこやジュース屋さんごっこを楽しむ。
・感じたことや気付いたことを伝え合ったり、図鑑や絵本を参考にしたり、友達の考えを取り入れたりして遊ぶ。

★＜ひまわり活動＞（アウオキ）
・ひまわり活動に興味をもち、ひまわりの種を植えたり畑の草取りを小学生や地域の方と一緒に行うことを楽しんだりする。
・自分の役割を最後までがんばろうとする。

＜みんなの力でやり遂げよう＞（アイウカ）
・ゆうぎ会、おたのしみ会に向けて内容や役割を話し合い、劇のシナリオや衣装などのアイディアを出し合ったり表現を工夫したりして協力し合って進める。
・本番では楽しんで発表し、みんなの力でやり遂げた達成感を味わう。

＜今年もありがとう＞（アイウエオ）
・クリスマス会や終業式を通して、１年が終わることに気付き、遊具や保育室などへの感謝の気持ちを込めて、みんなで役割を分担して協力し合って片付けたり大掃除をしたりする。

＜負けないぞ＞（イウカケ）
・ドッジボールや鬼ごっこ等、何度も繰り返してゲームを楽しむ中で、ルールを理解する。
・友達とチームを作ったり作戦を工夫したり試したりして楽しむ。

＜ゆうびんでーす＞（オクケコ）
・友達や先生に伝えたいことを文字や絵で表現しやりとりを楽しむ。
・ゆうびん屋さんに興味をもち、ポストを作ったり係を決めて手紙や葉書などを配達したりすることを楽しむ。

＜ゆめに向かって＞（ウオカケコ）
・卒園式やお別れ会の歌や言葉をみんなで考え、在園児や保護者、先生方に感謝の思いを伝える。
・小学校に行ったら何を頑張りたいかなどを友達と伝え合い、小学校への期待をもつ。

＜年長になったよ＞（イウオ）
・年長としての役割を意識して喜んで活動に取り組む。
・クラスの友達と教え合いながら当番活動を行う。
・なかよし集会や園内探検など縦割りでの活動や関わりを通して、年下の友達に優しく教えたり一緒に遊んだりする。

＜みんなで挑戦しよう＞（アイウ）
・縄跳び、跳び箱、鉄棒などあきらめずに繰り返し挑戦する。
・自分の興味のあることや少し難しいことにも挑戦し、できた喜びを味わう。

（ア～コ）は「１０の姿」
★は子どもの交流

ひまわり活動：ひまわりスタート集会／ひまわりの種袋詰め／ひまわりの種植え／除草／ひまわりサマーウィーク／ひまわり収穫／ひまわり種取り／きりたんぽまつり・産業祭 ひまわり商品販売／ひまわり感謝集会

行事・FC：入園式／なかよし集会(保)／保育参観／内科健診／運動会／七夕集会／夕涼み会(保)／２学期始業式(こ)／親子遠足(保)／眼科検診／就学時健診／幼保小中連携メディアコントロール週間／クリスマス会／３学期始業式(こ)／節分豆まき会／新入園児説明会／ひなまつり会／卒園式／１学期始業式(こ)／祖父母交流会(保)／歯科検診／個人面談(こ)／１学期終業式(こ)／サマーキャンプ(お泊まり保育)(こ)／向陽太鼓指導(こ)／秋の遠足・自然観察／ゆうぎ会(こ)／おたのしみ会(保)／２学期終業式(こ)／保育参観／内科健診／おわかれ会

子どもの交流：ひまわりスタート集会／ひまわりの種袋詰め／運動会予行練習見学／ひまわりの種植え／マラソン練習(こ)／除草／プール授業・水遊び交流／ひまわり収穫／ひまわり種取り／学習発表会予行練習見学／稲刈り／焼きいも交流会(こ保)／１年生生活科授業交流～あきまつり～／ひまわり感謝集会／雪遊び交流会／小学校の図書室に行こう／入学前交流会

職員の交流他：１年生授業参観・協議／幼保小連携推進会議／幼保小担任研修会／ミニ公開保育(保)／保育体験／カリキュラム会議／市教委夏季研修会への参加／認定こども園訪問／小学校市教研総合研への参加／生活科授業打ち合わせ／教職員研究実践発表会／カリキュラム会議／新１年生の情報交換／要録・個別の教育・保育支援計画送付

○☆環境の構成のポイント	☆ 目標をもって意欲的に取り組む姿を認め、自信をもって自分らしさを発揮できるように励ます。 ☆ 運動会に向けて、園のリーダーとして役割を果たしたり友達と協力して練習したりして初めての行事を楽しみ、達成感を味わえるようにする。 ○ １日の生活の流れを時計とともに表示し、活動の見通しがもてるようにする。 ○ 子どもが遊びを継続し、満足感や達成感を得られるように、場所や時間、素材や道具などを十分に用意し、遊びを保障する。	☆ 友達と協力したり競い合ったりして活動する中で、繰り返し挑戦したり試したりしようとしている姿を丁寧に読み取り、認めたり紹介したりする。 ☆ お互いの思いやイメージを出し合いながらよりよい方法で遊びを展開できるように、考えを受け止めて言葉にしたり視覚化したりしながら、考えを引き出す援助をする。 ○ 遊びの楽しさや工夫を交流したり、お互いのよさを認め合ったりするために、遊びの振り返りの時間を保障する。	☆ 共通の目的に向かって試行錯誤しながら実現に向かう場面を大切にし、それぞれの持ち味を発揮し、お互いによさを認め合うことができるような言葉掛けをする。 ☆ ゆうぎ会やおたのしみ会に向けて、みんなで一つの劇や合奏などを創り上げる喜びを味わうことができるようにする。 ○ 一人一人の興味・関心に応じた絵本との出会いを大切にし、絵本に親しむ環境を工夫する。 ○ 四季の変化や自然の美しさ、不思議さを感じられる体験、知的好奇心を満たす遊びや環境を工夫する。	☆ 今までの経験を生かして、心と体を十分に働かせて自分たちで遊びを進める姿を認め、満足感をもてるようにする。 ☆ 子どもと一緒に園生活を振り返りながら、５歳児としての役割をやり遂げた達成感や自他の成長への喜びを共有し、自信をもって行動できるようにしていく。 ○ 卒園に向けて、自他の成長に気付いたり、お世話になった方々への感謝の気持ちをもったりできるような環境を工夫する。
家庭との連携	・子どもの発育上のことや家庭での様子を聞いたり、園での様子を伝えたりしながら、保護者の思いを受け止めるとともに、信頼関係を築いていく。 ・年長として意欲と自信をもって生活している姿を伝え、ともに成長を喜び合えるようにする。 ・年間の行事予定やそれをリードする年長児としての役割を伝え、理解と協力を得る。	・遊びの様子や行事などの参観や面談などを通して、どのような育ちを願い、どんなを経験をさせたいか、子どもの変容を伝えながら成長を共有していく。 ・遊びや生活の中でのトラブルが成長につながることを伝え、様子を伝えながら理解を得るようにする。 ・早寝・早起き・朝ご飯や絵本の読み聞かせの大切さを伝え、理解と協力を得る。	・ゆうぎ会やおたのしみ会へ向けての取り組み、本番での頑張りを認めてもらい、自信や意欲に繋げていく。 ・就学に向けての心配や不安を受け止めて、安心して就学できるように子どもへの関わりを一緒に考えるとともに、必要な情報を提供し相談できる機会や場につなぐ。場合によっては小学校と情報を共有する。 ・幼保小中連携メディアコントロール週間や就学時健康診断を機会に、入学までに身に付けたいカや、起床、就寝、食事、メディアの時間などの生活習慣を見直し、規則正しい生活を送ることができるように協力をお願いする。	・卒園式、入学式までの予定を示し、見通しをもって準備できるよう、また、不安がないように支援する。 ・子どものがんばりやよさについて伝え、成長の喜びを共有し、自信と期待をもって入学できるような励ましや言葉掛けをお願いする。

令和6年度　釈迦内小学校区　架け橋期のカリキュラム全体計画（1年生4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿　　大館市　周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども

釈迦内小学校区
- 前向きな心：夢や目標をもち進んで学ぶ子ども（ドリームグリーン）
- 美しい心：自分も友達も大切にし協力し合う子ども（ビューティフルブルー）
- 挑戦の心：あきらめずに挑戦し、やりとげる子ども（チャレンジレッド）（チアイエロー）

＜共通の視点＞
思考力
協同性
自立心

釈迦内小学校区
釈迦内小学校
向陽こども園
釈迦内保育園

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
期	小学校1年　第1期	小学校1年　第2期			小学校1年　第3期					小学校1年　第4期		

小学校区で目指す子どもの姿

	小学校1年　第1期	小学校1年　第2期	小学校1年　第3期	小学校1年　第4期
ねらい	・小学校の生活や新しい学習に興味をもって取り組み、**学級の友達や上級生、先生と進んで触れ合い**、楽しく、安心して生活する。	・小学校の生活や学習に**見通しをもって取り組み、共に活動する楽しさを友達と共有**し、意欲的に活動や学習に取り組む。	・たくさんの友達との関わりの中で、**相手の思いや願いを感じながら自分の思いを表現し、主体的に**活動や学習に取り組む。	・自分や友達の成長に気付き、**お互いに認め合い、相手の気持ちを尊重しながら、自信をもって**活動や学習に取り組む。
進んで学ぶ子ども（思考力）	・学校探検や春探しなどから、伝えたいことを選んだり、伝え方を工夫したりする。 ・自分のよいところや夢、できるようになりたいこと等、絵や言葉で表したり、友達と伝え合ったりする。	・あさがおやひまわりの成長に見通しをもち、成長の様子や開花への期待を、言葉や絵、動作等の方法を選んで伝え合う。 ・ひまわりの種を袋に詰める活動で、種の数え方を工夫したり、地域の人に喜んでもらえるような絵を考えてかいたりする。	・秋のおもちゃづくりを通して、作りたいものに合った材料を選んだり、考えた遊び方を分かりやすく伝え合う。 ・ひまわりの収穫や種取りなどの活動を通して、生命をもっていることや成長していること、生命をつないでいることに気付いている。	・１年間を通してできるようになったことを、絵や動作など様々な表現で伝え合う。 ・新しい１年生に学校のことを分かりやすく伝えるために、内容や方法を工夫する。
協力し合う子ども（協同性）	・新しく出会う友達や教師と進んで関わり、一緒に活動する楽しさや喜びを感じる。 ・楽しく学習や生活をするために大切なこと（返事や挨拶、約束やマナー、言葉遣いなど）に気付き、進んで実践しようとする。	・上級生や学校を支えている方々、地域の方などいろいろな人と関わることを楽しみ、地域への親しみを深める。 ・聞き手を見て話したり、話し手に共感して相づちなどの反応をしながら最後まで話を聞いたりする。	・ひまわり活動などでこれまでお世話になった地域の方々へ、感謝の思いを伝える方法を話し合い、感謝集会で実践することで、みんなで協力することのよさを感じる。 ・話し手の意図を考えながら聞いたり、自分の思いが相手に伝わるように分かりやすく話そうとしたりする。	・新１年生との交流会に向けて、内容や表現方法を話し合い、みんなで協力して実践することで、進級への期待を高める。 ・新１年生の手本となるような聞き方や話し方、授業中の姿勢などを意識して生活しようとする。
あきらめずやる子ども（自立心）	・学校生活に見通しをもって、自分でできることは自分でしようとしたり、学習の準備を意欲的に行ったりする。 ・運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守りながら誰とでも仲よく運動をする。	・楽しい学級にするために、自分にできる仕事を考えたり話し合ったりして決め、進んで役割を果たそうとする。 ・学習や生活、行事等の中で、目標に向かって自分の力を発揮し、粘り強く取り組む。	・これまでの学級活動（係や当番）を振り返り、よりよい学級にするためにどうするか考え、やり遂げようとする。 ・学習や生活、行事等の中で、自分の目標を達成するよう諦めずに取り組む。	・新しい１年生に楽しんでもらうために、自分でできる仕事を考えたり、話し合ったりして、自分の役割を果たそうとする。 ・２年生へ向けて、自分の目標を決めて今できることに粘り強く取り組む。

共通して充実を目指す活動・体験

○楽しかったことや気付いたことなどを友達と伝え合う。〈朝・帰りの会・ひまわりタイムなど〉

進んで学ぶ子ども（思考力）

＜がっこうだいすき＞（生活）（アイウエオカクケコ）
○友達や先生と自己紹介し合ったり、学校探検をして見付けたものを友達と伝え合う。
国語「どうぞよろしく」
- 自己紹介カードに名前を書く。

「なんていおうかな」
- 場面に応じた言葉や動作を考える。

「こんなもの　みつけたよ」
- 学校探検で見付けたものを友達と伝え合う。

図工「すきなもの　いっぱい」
- すきなものや見付けたものを絵に表す。

道徳「どうしてこうなるのかな」
- 楽しく生活するためのルールやマナーを考える。

体育「体ほぐしの運動遊び・固定施設遊び」
- 友達と一緒に校庭遊具で遊んだり、かけっこをしたりする。

音楽「うたでなかよし」「なまえあそび」
- 園で歌っていた歌や春の歌を歌う。
- 名前でリズム遊びをする。

＜なりたい自分に向かって＞（学活）（アイウオカケ）
○自分の好きなことや得意なこと、できるようになりたいこと、夢などを考え、キャリアノートに書いて友達と伝え合う。
道徳「みんなじょうず」
- 自分のよいところを見付ける。

＜みんなで力を合わせてⅠ＞（アイウエオ）
体育「走の運動遊び」
- かけっこや玉入れ競争、ダンスなどの運動遊びに取り組む。
- 順番やきまりを守り、誰とでも仲良く遊んだり、場の安全に気を付けたりする。

特活・縦割り班の人と一緒に掃除に取り組む。
学活「運動会でがんばりたいこと」
- 目標を決めて取り組む。

＜きれいにさいてね＞（生活）（カキクケ）
○あさがおとひまわりの種を植え、その変化や成長の様子に関心をもちながら世話をする。
国語「なんていおうかな」
- 地域の方や上級生に種の植え方を聞く。

「としょかんへいこう」
- 図鑑で育て方を調べる。

道徳「あさがお」
- どんな気持ちで植物の世話をすればよいか考える。

算数「なかまづくりとかず」
- 種の数を数えたり、数のまとまりを作ったりする。

常時活動・係活動
- 朝の時間や中休みの時間に、水やりをしたり、成長の様子を観察したりする。

生活「ひまわりの草取りをしよう」
★年長児と一緒に草取りをする。

＜ひまわりタイム＞（響学）（アイウエカケ）
○友達と考えを出し合い、協働的に学び合う。
- 見通しもち、まずは自分の力でやってみる。
- 自分の考えを発表する。
- 友達の話を反応しながら聞く。
- よりよい方法を考える。
- 振り返りをする。

＜みんなのためにできること＞（朝・帰りの会・学活）（アイウオケ）
○やってみたい仕事に挑戦したり、あったらいいなと思う仕事を考えて試してみたりする。
- あったらいいなと思う仕事を見付けて発表する。
- 自分でやりたい仕事を決める。
- 役割を決め、係の仕事に取り組む。
- 活動を振り返って、学級の係活動にしたらよいものを選ぶ。

★＜ひまわり活動～収穫、種取り・感謝集会～＞（響学）（イウオカキケコ）
- 自分の育てたひまわりの成長を感じながら、友達や年長児と協力して収穫・種取りをする。
- これまでの活動を振り返り、どうすれば感謝の気持ちが伝わるか自分なりに考え、お世話になった人たちと進んで交流したり感謝の気持ちを伝えたりする。

＜みんなで力を合わせてⅡ＞（特活）（イウオカケコ）
○学習発表会を成功させるために、目標に向かって、友達と励まし合いながら一緒に取り組む。
行事「学習発表会」劇
- 自分なりの表現の仕方を考え、相手に伝えようとする。

道徳「やればできるんだ」
- 最後までやり通すために、何が大切か考え、諦めずに努力しようとする。

★＜たのしいあき　いっぱい＞（生活）（ウオカキコ）
- 秋のものを使ったおもちゃを考え、友達と協力しておもちゃづくりを行い、年長児を招待してあきまつりをする。

★生活「あきのおもちゃをつくろう」
- おもちゃを作るために必要な材料を集めたり、作り方や遊び方などを考えたりしてまとめる。

★生活「あきまつりをしよう」
- 遊び方やルールなどの説明を考え、相手が分かりやすいように伝える。
- 相手が楽しめるようにするにはどうすればよいか考えて、試してみる。

道徳「くりの　み」
- 困っている人のために、どんなことができるか考え、相手に思いやりをもって接しようとする。

★＜冬をたのしもう＞（生活）（アウカキコ）
- 雪や氷などを利用した、冬ならではの遊びの楽しさに気付き、友達と仲よく遊ぶ。

体育「スキー遊び」
- 寒さに負けず、進んでスキー遊びに取り組む。

国語「ききたいな、ともだちの　はなし」
- 冬休みや冬の遊びで体験したことを友達に詳しく話したり、聞いたりする。

★生活「ゆきあそび交流会」
- 雪や氷を使った遊びを友達と一緒に考えたり、遊びを発展させたりする。
- 年長児と一緒にルールや作戦などを話し合いながら工夫して雪遊びを楽しむ。
- 遊びを振り返り、次の交流会に生かす。

＜なりたい自分に向かって＞（学活）（アイウオカケ）
○一年間を振り返って、頑張ったことや出来るようになったことなどをキャリアノートに書いて伝え合い、自他の成長に気付く。
生活「一年間をふりかえろう」
国語「いいこといっぱい、一年生」
- 楽しかったことや嬉しかったこと、がんばったこと、できるようになったことなどを絵や文章で表し、友達と伝え合う。

＜もうすぐ２年生＞（生活）（イウエオカケコ）
○年長児との関わりを深め、成長の喜びや感謝の気持ち、進級への期待・意欲をもつ。
★生活「新しい１年生をしょうたいしよう」
- 新１年生のために、どんなことができるか考えて話し合い、計画、実践する。

★国語「新１年生に本の借り方を教えよう」
生活「ありがとうわたしたちの教室」
- １年間使用した教室に感謝の気持ちをもち、掃除をしたり、新一年生のために作品を飾ったりする。

道徳「みんなみんな、ありがとう」
- 自分で成長したと思うことを考えて伝え合い、支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを表す。

協力し合う子ども（協同性）

挑戦あきらめずやる子ども（自立心）

ア～コは１０の姿
★は子どもの交流活動

ひまわり活動

ひまわりスタート集会
ひまわりの種袋詰め
一戸一ひまわり運動
ひまわりの種植え
除草
除草
かかし教室
ひまわりサマーウィーク
ひまわり収穫
ひまわり種取り
きりたんぽまつり・産業祭・ひまわり商品販売
ひまわり感謝集会
児童総会
来年度のひまわり活動についての提案

行事・FC

入学式
新任式・始業式
給食開始
下校指導
１年生を迎える会
縦割り清掃班スタート集会
交通安全教室
発育測定・内科検診
町内児童会・集団下校
PTA授業参観・懇談会
マラソン運動
地域訪問
読書強調月間
運動会
田植え(5年)
新体力テスト
PTA授業参観・懇談会
終業式
避難訓練
地域防災活動(小・中)
２学期始業式
学習発表会
就学時健診
PTA授業参観・研修会
２学期終業式
幼保小中連携メディアコントロール週間
３学期始業式
スキー授業・スキー教室
児童総会
６年生を送る会
PTA授業参観
修了式
卒業式

子どもの交流

ひまわりの種植え・除草(2年)
なつの遊び・プール授業交流
ひまわり収穫・種取り
稲刈り(5年)
学習発表会予行練習見学
１年生活科授業～あきまつり～
ひまわり感謝集会
図書室へ行ってみよう
雪遊び交流会
入学前交流会

職員の交流他

１年生授業参観・協議
幼保小連携推進会議
生活科授業参加
幼保小担任研修会
保育参観・研究協議（保）
夏季研修会
カリキュラム会議
保育体験
保育参観・研究協議（こ）
生活科授業打ち合わせ
教職員研究実践発表会
カリキュラム会議
新１年生の情報交換
要録・個別の支援計画の送付

○☆環境の構成のポイント

小学校1年　第1期	小学校1年　第2期	小学校1年　第3期	小学校1年　第4期
☆ 入学した喜びを共有し、意欲的に取り組もうとする姿を認め励ましたり、児童の話を共感しながら聞いたりして、温かな安心できる学級づくりを工夫する。 ☆ 幼児期とのつながりを考慮し、幼児期に親しんだ活動を取り入れ、自信をもって活動できるようにする。 ○ 子どもの思いを汲み取りながら、一人一人が安心感をもち落ち着いて生活、学習できるように一緒に環境を工夫していく。 ○ 生活科を中心とした関連的な指導を行ったり弾力的に時間割を工夫したりする。	☆ 具体的な体験を通して、伝え合う、交流する、試行錯誤や繰り返す活動を保障し、お互いのよさやそれぞれの気付きを共鳴させるようにする。 ☆ 運動会などの取組を通して、頑張っている姿や友達と協力している姿を価値付けし、意欲を高める。 ○ 登下校や縦割り班活動、運動会、ふるさとキャリアの活動などへの取組を通して、地域の方々や他学年との関係づくりをするとともに、様々な人に支えられていることに気付けるようにする。	☆ 学級集会や学習発表会など、共通の目的に向かって活動することで、思いを伝え合い協力して創り上げる体験をもてるようにする。 ☆ 縦割り班や異学年の子ども、幼児、高齢者など、関わりを段階的に広げ多くの人と交流することで、相手意識をもって行動できるようにする。 ○ 友達と話し合って考えをまとめたり、試行錯誤したり、振り返ったりする時間を十分に確保し、満足感や達成感をもてるようにする。	☆ 体験入学では新１年生が入学を楽しみにするような活動を工夫できるようにする。 ☆ 「ありがとうカード」や「いいねカード」を交換し、お互いのよさを実感できるようにする。 ☆ 各教科を通して、１年間の成長を認め、２年生の学習や生活への意欲を高める。 ○ １年間の成長に気付き、自分や友達のよさを実感できるように、子どもの作品やカード、写真などを掲示する。

家庭との連携

小学校1年　第1期	小学校1年　第2期	小学校1年　第3期	小学校1年　第4期
・学校の方針、１年生の目指す姿やスタートカリキュラム、重点施策等について伝え、理解を得る。 ・１年間の予定や１週間毎の具体的な予定を丁寧に伝え、保護者が見通しをもてるようにする。 ・連絡帳や通信などで子どもの様子を伝え、保護者が安心できるようにするとともに、家庭でも話題にしたり褒めたりしてもらえるようにする。	・子どもの頑張っていることやできるようになったこと、課題になることを具体的に伝える。 ・規則正しい生活習慣づくりやメディアコントロール、読み聞かせや音読、家庭学習など、継続する大切さを啓発していく。 ・学校行事や学年の活動、ＰＴＡ活動などの保護者ボランティアの教育的価値を伝えて協力をお願いする。	・２学期始まりの準備物や生活リズムの回復について、協力をお願いする。 ・生活科「かぞくにこにこ大作戦」のねらいや内容を丁寧に伝え、継続してお手伝いに取り組めるよう協力をお願いする。 ・子どもたちの活動の様子や頑張っている姿を伝え、家庭でも褒めたり認めたりしてもらえるようにする。	・子どもの成長について、家庭でも褒めたり認めたりしてもらうようお願いする。 ・自信をもって進級できるように、子どもが自分では気付かない内面の成長についても気付かせてもらうようにする。 ・生活リズムや持ち物など、子どもと一緒に話し合ったり確認したりしながら、進級に向けての準備をしてもらうようにする。

令和6年度　花岡小学校区　架け橋期のカリキュラム全体計画（5歳児4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿
大　館　市　　周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども
花岡小学校区　ゆっくり　たっぷり　じっくり　関わりと学びを広げる子ども

＜共通の視点＞
◇知的好奇心
☆チャレンジ
♡自己肯定感

花岡小学校区
花岡小学校
花岡保育所

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
期	5歳児　第１期		5歳児　第２期				5歳児　第３期			5歳児　第４期		
ねらい	・年長としての**意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮**しながら安心して生活する。		・友達と**思いを伝え合いながら一緒に**遊びや生活を進めていく中で仲間意識を高める。				・友達と一緒に考えたり、話し合ったり、**折り合いを付けたりしながら共通の目的に向かって**遊びや生活を進める楽しさを味わう。			・自分や友達のよさが分かり、**認め合ったり受け入れ合ったりしながら、協力して**遊びを進める楽しさや**やり遂げる満足感**を味わう。		
小学校区で目指す子どもの姿 知識及び技能の基礎	・自分の気持ちを相手に分かるように言葉で伝える。 ・保育士等や友達の話を注意して聞き、内容を理解しようとする。 ・絵本や物語の展開に興味をもち、友達と一緒に楽しんで聞く。		・自分の言いたいことを分かるように話すとともに、友達の話すことにも興味をもち、よく聞く。 ・絵本や物語などに親しみ、興味や関心をもち、想像する楽しさを味わう。				・遊びや生活の中で必要なことや伝えたいことを絵や記号、言葉や文字などを使って表すよさに気付く。 ・絵本や物語、紙芝居、言葉の楽しさや美しさに気付き、言葉を豊かにする。			・遊びや生活で必要な文字に興味をもち、読んだり書いたりする。 ・絵本や物語などで見たり、聞いたりしたことを自分の経験と結び付けながら、言葉を広げることを楽しむ。		
思考力・判断力・表現力の基礎	・身近な草花や野菜、虫などの自然物に興味や関心を広げ、名前や世話の仕方を考えたり調べたりする。 ・遊びや生活の中で、気付いたことや感想、想像したことを友達と伝え合うことを楽しむ。		・収穫物や動植物の数を数えたり、大きさや重さを比べたりしながら、言葉の意味を実感する。 ・友達との関わりの中で、異なる考えや相手の気持ちに気付き、言葉で伝えたり、考えたりする。				・自然物など様々な環境を使って遊びを楽しみ、素材の感触や物の特性に気付いたり、調べたりして探究する。 ・ごっこ遊びや劇遊びなどで友達とイメージを伝え合い、共有しながら表現する喜びを味わう。			・身近な事象や自然の変化に興味や関心をもち、発見したことや不思議に思ったことなどを友達と一緒に試したり、工夫したりすることを楽しむ。 ・園生活で経験したことを振り返り、身近な人々と心を通わせて、成長した喜びを味わったり感謝の気持ちをもって、言葉で伝え合う。		
学び・人間性等に向かう力	・年長児になった喜びを感じ、自分でできることをしようとしたり、自分たちで進めようとする。 ・友達や年下の子どもに思いやりの気持ちをもって優しく関わり、親しみをもつ。		・体を動かす遊びに繰り返し挑戦し、できるようになった達成感を味わい、様々な運動に挑戦しようとする。 ・年下の子どもや小学生、地域の人とふれあいを通して親しみをもち、関わる楽しさを感じるようにする。				・友達と共通の目的に向かって、自分たちで役割を分担したりルールを決めたりしながら、協力してやり遂げようとする。 ・自分の生活に関係の深い情報や地域の人に関心をもち、遊びや生活に取り入れて楽しむ。			・困ったことを友達や保育士等に自分から話したり、お願いしたいことを伝えたりして、自分たちで解決しようとする。 ・カルタ大会やお茶会、ひな人形鑑賞など、地域の伝統的な行事にふれ、地域の人々や文化に親しみをもつ。		

共通して充実を目指す活動・体験

◇知的好奇心の醸成　☆チャレンジ　♡自己肯定感の育成

〈　わくわく　どきどき　やってみよう　〉

はるとなかよし（◆★♡）
散歩（お花見・こごみ・わらび・アカシア・ミズ）
畑作り（耕す・うね作り・野菜の種・苗植え）
・身近な自然に興味や関心をもち調べたり名前を覚えたりして言葉を広げる。
・感動や気付きを伝え合う。
・どんな野菜や花を植えるか相談して決める。
・水やりや世話をする。

全身で自然を感じ取る体験
いきものとなかよし（◆☆♥）
カナヘビ、トカゲ、ザリガニ、メダカ
カエル、サンショウウオ、カタツムリ、
トンボ、カブトムシ、クワガタムシ
・生き物探しをする。
・どうしたら過ごしやすいか何を食べるか調べて世話をする。
・命の大切さに気付く。

なつとなかよし（◆★♡）
・水・砂・土・泥遊び　・泡遊び
・草花・色水遊び　・虫捕り
・探検ごっこ　・秋探し
・季節の変化に気付く。
・発見した物に興味をもち調べたり試したり言葉で表現したりする。
・遊びに必要な物を考えて準備する。
・遊びに必要な物を作る。

あきとなかよし（◆★♡）
収穫（さつまいも、大根葉）・焼いもパーティー
散歩（くるみ、松ぼっくり、どんぐり、とちのみ、ぎんなん、くりなど）
雨、風、息の白さ、気温、感触、食感
・季節の収穫物を知る。
・自然の魅力や不思議に気付き言葉で伝える。
・食べることを楽しむ。
・感謝の気持ちをもつ。

季節の変化を五感で感じる
いきものとなかよし（◆☆♡）
カナヘビ、トカゲ、ザリガニ、メダカ
カタツムリ、
・命あるものを大切にする。
（エサ探し・とった場所を再現してみる）
・冬眠の仕方を図鑑で調べたり考えたりする。

ふゆとなかよし（◆☆♡）
・雪遊び　・氷遊び・タオル凍らせ体験
・探検　・春探し
・発見をみんなで伝え合い共有する。
・不思議な現象を繰り返し試す。
・気付きから予想して確かめるなど探究や試行錯誤につなげる。

ともだちといっしょにやってみよう（◇★♥）

【年長になった喜び】☆♥
・年長としての役割を分担して入園式のお祝いの言葉をみんなで考え発表する。
・年下の子の世話をする。

【気の合う友達と一緒に】☆♥
・自分がやりたいことを見付ける。
・気の合う友達を誘って遊ぶ。
・思いがぶつかり合いながらも自分たちで解決しようとする。

【全身を使った遊び】★◇
・水・砂・土の感触を味わい、気付いたことや感じたことを伝え合う。
・友達の遊びに刺激を受け、真似し合ったり挑戦したりする。
・自分のめあてを立て繰り返し楽しむ。
（かけっこ・プール遊びなど）

【地域の人といっしょに】♥
・進んで挨拶をする。
・人と関わる楽しさを味わう。
・地域のゴミ拾いをする。
・笹飾りを届ける。
・高齢者施設を訪問する。

ともだちといっしょにやってみよう（◇★♥）

【運動会ごっこ・ルールのある遊び】★♥
・子どもたちなりのルールをつくり試してみる。
・競い合う楽しさを味わい、協力したり応援し合う。
・目標を決めて記録に繰り返し挑戦する。

【劇ごっこ】◇★♥
・お話のイメージを伝え合い、発表の内容を話し合う。
・セリフを考え試す。
・必要な小道具を考え作る。
・素材や道具の使い方を試行錯誤し、友達に教えたり協力したりして表現することを楽しむ。

【年下の子といっしょに】♥
・一緒に遊べるように工夫する。
・自分の成長に気付き年下の子に教えてあげようとする。
・どんな言葉で伝えたらよいか考えて接する。

【お別れ会・卒園式】◇★♥
・お別れ会や卒園式に向けて協力しながら進める。
・お世話になった人に感謝やお礼の気持ちを言葉や歌で伝える。
・卒園記念のプレゼントを製作する。
・自分の成長を感じ小学校に入学する喜びや期待をもつ。

おはなしとなかよし（◆♡）
・保育所での読み聞かせを聞く・おはなしのもり（月１）
・花矢図書館で本を借りる。
・絵本や物語などに親しみ興味をもって、聞いたり想像したりする。
・好きな場面や想像したことを遊びに取り入れる。

もじやかずとなかよし（◆♡）
・自分で好きな絵本を見る・地域の人に招待状や手紙を書く
・七夕の短冊を書く・虫や木の実など身近な物を数える
・絵本を一人でじっくり見たり、友達と一緒に見たり読んであげたりする。
・文字や数に関心をもち、進んで遊びに使おうとする。
・遊びの中で数えたり、重さを比べたりする。・数え歌や言葉遊びを楽しむ。

おはなしをききたいなあ（◆♡）
・保育所での読み聞かせを聞く・おはなしのもり（月１）
・花矢図書館で本を借りる
・読み聞かせごっこ、劇ごっこをする。
・お気に入りのお話の様子を絵に表す。（花岡地区文化祭絵出品）

むかしあそびをたのしもう（◆♡）
・花岡ふるさとカルタ
・郷土の歴史に触れ、関心をもつ。
・五七五のリズムを楽しむ。
・カルタの読み手、取り手の役割を楽しむ。
・１年生とカルタ大会を楽しむ。

※ 特にねらうものについては、★◆♥で表記　※　☆「チャレンジ」→課題解決・自立心・協同性など

主な行事
入園・進級式　保育参観　親子遠足　☆七夕交流　☆夏祭り　りんご狩り　就学時健診　おゆうぎ会　クリスマス会　豆まき　おたのしみ会食　卒園式
読み聞かせスペシャル　☆花岡小学校運動会　石田ローズガーデン見学　川遊び交流会　☆運動会　秋の遠足　ハロウィン　☆カルタ大会　☆体験入学　お別れ会
焼き芋交流会　花岡地区文化祭　祖父母交流会　保育参観日　ひなまつりお茶会
地域交流ゴミ拾い　☆花岡小学校チャレンジ活動　幼保小中連携メディアコントロール週間

職員の交流他
花岡小学校授業参観　花岡小学校職員夏季保育参観　小学校市教研総合研への参加　教職員実践研究会　情報交流会

○☆環境の構成のポイント	☆ 目標をもって意欲的に取り組む姿を認め励まし、自信をもって自分らしさを発揮できるようにする。 ☆ 年長になった喜びを受け止め、落ち着いて生活できるよう、一人一人に丁寧に関わり、信頼関係を築いていく。 ○ １日の生活の流れを時計とともに表示し、活動の見通しがもてるようにする。 ○ 子どもが遊びを継続し、満足感や達成感を得られるように、場所や時間、素材や道具などを十分に用意し、遊びを保障する。	☆ 友達と協力したり競い合ったりして活動する中で、繰り返し挑戦したり試したりしようとしている姿を丁寧に読み取り、認めたり紹介したりする。 ☆ お互いの思いやイメージを出し合いながらよりよい方法で遊びを展開できるように、考えを受け止めて言葉にしたり視覚化したりしながら、考えを引き出す援助をする。 ○ 子どもの興味や関心を引き出していけるような環境をつくっていく。 ○ 遊びの楽しさや工夫を交流したり、お互いのよさを認め合ったりするために、遊びの振り返りの時間を保障する。	☆ 共通の目的に向かって試行錯誤しながら実現に向かう場面を大切にし、それぞれの持ち味を発揮し、お互いによさを認め合うことができるような言葉掛けをする。 ☆ おゆうぎ会に向けて考えを出し合ったり、工夫したりしながらやり遂げる達成感を味わうことができるようにする。 ○ 一人一人の興味・関心に応じた絵本との出会いを大切にし、絵本に親しむ環境を工夫する。 ○ 四季の変化や自然の美しさ、不思議さを感じられる体験や、好奇心や探究心をもって関わりを広げられる環境をつくれるようにする。	☆ 友達と様々な体験を重ねる中で、相手の気持ちに共感したり、自分の気持ちを調整したりできるよう必要に応じて援助する。 ☆ 子どもと一緒に園生活を振り返りながら、５歳児としての役割をやり遂げた達成感や自他の成長への喜びを共有し、自信をもって行動できるようにしていく。 ○ 子ども同士相談したりしながら存分に遊ぶ場を保障する。 ○ 就学児健診や体験入学会を通して、1年生と交流する場をもち、自分たちが体験してみたいことを考えながら、期待がもてるようにする。
家庭との連携	・ 子どもの家庭での様子を聞いたり、園での様子を話したりしながら、成長を伝え合い、保護者の思いを受け止めるとともに信頼関係を築いていく。 ・ 年長になって意欲的に生活する姿を知らせ、子どもの成長を見守ったり共に考えたりして、支えていく。 ・ 子どもの成長を感じられるように、配布物や掲示板では、写真などを使って子どもの生活や遊びの様子を伝えていく。	・ 遊びの様子や行事などの参観、懇談を通して、「どのような育ちを願い、どんなを経験をさせたいか」、子どもの変容を伝えながら成長を共有していく。 ・ 遊びや生活の中でのトラブルが成長につながることを伝え、様子を伝えながら理解を得るようにする。 ・ 早寝・早起き・朝ご飯や絵本の読み聞かせの大切さを伝え、園生活を元気に送れるようにする。	・ 就学に向けての保護者の不安を受け止めて、職員間で共有するとともに安心して過ごせるよう声を掛けていく。 ・ 小学校へ必要な情報を知らせながら、相談できる機会や場につなげられるようにし、安心して就学を迎えられるようにする。 ・ おすすめの絵本を配布物や掲示板などで紹介し、絵本の良さを知らせる。	・ 子どもたちのがんばりやよさについて伝え、１年の成長の喜びが園と家庭で共有できる場をもつ。 ・ 就学へ向けての心配や不安を受け止め、一人一人に配慮して進めていくようにする。 ・ 規則正しい生活を送れるように一人一人の家庭環境に配慮し、できる範囲での生活リズムが整えられるようにする。

令和6年度　花岡小学校区　架け橋期のカリキュラム全体計画（1年生4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿
大　館　市　　周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども
花岡小学校区　ゆっくり　たっぷり　じっくり　関わりと学びを広げる子ども

＜共通の視点＞
◇知的好奇心
☆チャレンジ
♡自己肯定感

花岡小学校区
花岡小学校
花岡保育所

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
期	小学校１年　第１期	小学校１年　第２期			小学校１年　第３期					小学校１年　第４期		
ねらい	・入学の喜びを感じ、友達や上級生、先生と関わる中で、**様々な環境や新しい学習に興味をもち、安心して楽しく生活する。**	・小学校の生活や学習に**見通しをもって取り組み、共に活動する楽しさを友達と共有し、**意欲的に活動や学習に取り組む。			たくさんの友達との関わりの中で、**相手の思いや願いを感じながら自分の思いを表現し、主体的に**活動や学習に取り組む。					**自分や友達の成長に気付き、互いに認め合い、相手の気持ちを尊重しながら、自信をもって**活動や学習に取り組む。		
小学校区で目指す子どもの姿　知識及び技能の基礎	・これまでの経験を生かしながら新しい学習に取り組み、興味や関心をもちながら学ぶ中で、約束やルール、マナーの必要性に気付き、身の回りのことを自分でやろうとする。 ・お話の世界を想像したり、友達と楽しさを共有したりしながら本に親しみ、言葉を広げていく。	・学校生活のリズムが身に付き、活動に見通しをもって準備したり約束やルールを守って行動したりする。 ・文字や数字、言葉に親しみ、読んだり書いたり使ったりする。			・学校生活に慣れ、一日の過ごし方について見通しをもって行動する。 ・文字等を通して新しい知識を得たり、友達とのやりとりの中で様々な考えがあることに気付いたりする。					・友達のよいところを認めたり、困っている友達に進んで声をかけたりしながら、思いやりをもって生活したりする。 ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章で使い、語彙を豊かにする。		
思考力・判断力・表現力の基礎	・学び合いの約束を身に付け、自分の思いを表現したり友達と伝え合ったりする。 ・これまでの学びとのつながりを感じながら、新しい環境の中で気付いたり発見したりしたことを伝え合ったり、自分の中に取り込んだりする。	・？（疑問）や！（驚き）を出し合いながら、課題を見付けていく。 ・自分の伝えたい目的や相手に応じて、言葉や方法を選んで伝える。			・経験したことや身に付けたことを活用したり友達の見方や考え方に触れたりしながら課題を解決していく。 ・自分の考えなどを分かりやすく話そうとしたり、自分の考えと比べながら相手の話を聞いたりする。					・互いに意見を交わし合いながら考え方を整理し、話合いを通して皆で課題を解決していく。 ・自分の考えなどを分かりやすく話そうとしたり、相手の話を聞いて、感想や質問を伝えたりしながら、話合いを進める。		
学び・人間性等に向かう力	・新しく出会う先生や友達と一緒に活動する楽しさを感じながら進んで関わろうとする。 ・相手の気持ちを考えたり自分の行動を振り返ったりして楽しく生活しようとする。	・友達と一緒に活動する中で、お互いを理解し、共に過ごす喜びや楽しさを味わう。 ・活動や日常生活を通して、学校を支えている方々や地域の方々の存在を知り、親しみをもって関わろうとする。			・友達と目的を共有し、互いの思いや考えを伝え合いながら活動する中で、連帯感や所属感を深める。 ・学校を支えている方々や地域の方などいろいろな人と関わることを楽しみ、地域への親しみを深める。					・友達の頑張りを認めるとともに、自分の成長も感じながら、次に向かって前向きに行動しようとする。 ・学校を支えている方々や地域の方など、いろいろな人との関わりを通して、感謝の気持ちをもち、伝えようとする。		

共通して充実を目指す活動・体験

◇知的好奇心の醸成　☆チャレンジ　♡自己肯定感の育成

～レッツ・チャレンジ　「自立した子どもを育てる」～　　〈　勇気・つながり・チャレンジ　〉

行ってみよう，見てみよう（◇★♡）
〈校内外を探索しながら興味・関心を広げ、何度も行ってみたり、聞いてみたりしながら、学校という新しい環境について知っていく喜びを味わう。〉
・学校探検Ⅰ（生）
①「がっこうのことがしりたいな」
②「ともだちとがっこうをたんけんしよう」
・交通教室（特活）
「つうがくろをあるいてみよう」（生）
「がっこうだいすき」（道）

見つけたよ，これなあに（◆☆♡）
〈友達ともっと知りたいことや不思議に思ったこと、やってみたいこと等の気付きを共有し、話し合ったり、調べたり、分かったことを自分なりの方法で表したりしながら学ぶ楽しさを味わう〉
・学校探検Ⅱ（生活科）
①「がっこうにいるひととなかよくなろう」
②「がっこうでみつけたことをつたえよう」
「みんなのこうえんであそぼう」（生）
「こんなものみつけたよ」（国）

育ててみようよ①（◆☆）
〈あさがおの種を植えたり、畑で育てたい作物を相談して植えたりし、生長を楽しみにしながら興味をもって世話をしようとする。〉
「たねをまこう」（生）「あさがお」（道）
・花いっぱい運動：学級花壇の植え付（生）
・育てて食べよう：学級園（生）

育ててみようよ②（◆☆）
〈あさがおや畑の作物の生長に興味をもって観察し、友達と伝え合ったり、お世話したりしようとする。〉「せわをしよう」（生）
「おおきくなった」（国）
・花いっぱい運動：学級花壇の植え付（生）
・育てて食べよう：学級園（生）

食べてみよう・遊んでみよう（◆☆）
〈収穫を体験し、植物の成長について知るとともに、つるリースを作ったり、ポップコーンを食べたりしながら、実りの喜びを味合わう。〉
・あさがお：種とり、つるリース
・とうもろこし：ポップコーン　（生、図）
・サツマイモ：つるリース、絵

雪で遊ぼう（◆☆）
〈冬ならではの遊びを通して、不思議さ、楽しさを存分に味わう。〉
「みんなでいっしょに」（図）
：雪だるま、雪像作りなど
「スキー遊び」（体）
「雪や氷で遊ぼう」（生）

春を感じて（◆☆♡）
〈雪解けとともに春の芽吹きを感じ、次年度への期待を抱く。〉
「いいこといっぱい一年生」（国）
「１年間をふりかえろう」（生）
「ありがとうわたしたちの教室」（生）
「こころのはなをさかせよう」（図）

勉強楽しいね（◆★♡）
〈新しいことを知り、できるようになっていく楽しさを味わう〉
・チャレンジ授業（算）・ベーシック授業（全）

自分たちで進めてみよう（◆★♡）
〈 学び方を知り、覚えたことを使って相談したり考えたりしながら、自分たちで学びを進める楽しさを味わう〉
・チャレンジ授業（算）・ベーシック授業（全）

自分たちでできるよ（☆♥）
〈必要な係や当番の仕事を考え、できることは進んでやってみようとする〉
・係活動，当番活動の話合い（特活）
・縦割り班掃除（特活）
「きもちのよいせいかつ」（道）
「あかるいあいさつ」（道）
「なんて いおうかな」（国）

レッツチャレンジ！ **運動会編（★♡）**
〈学校行事への参画意識の芽生えを大事にし、精一杯走ったり、踊ったり、応援したりしようとする。〉
「集団行動、走・跳の運動遊び」（体）
・よさこいソーラン（体）
・保育所５歳児との合同練習（体/生）
・選手宣誓、応援参加（特活）

全校チャレンジ編（★♡）
〈２・３年生に、相手意識をもちながら取り組む大切さを教わり、共にやり遂げる喜びを味わう。〉
・低学年出店の計画、準備、運営（生、国，図，道，特活）
「なかよくね」（道）

七夕交流会編（☆♥）
〈相手を思い浮かべながら計画し、５歳児に教えながら飾りを作ったり一緒に遊んだりする〉
・交流会の計画・準備（生）
「チョッキンバッてかざろう」
・５歳児と飾りづくり（図）
・七夕交流会～保育所にて～

学習発表会編（★♡）
〈観に来てくれる相手を思い浮かべながら、体を使って表現することの楽しさや、共に一つのことをつくり上げる喜びを味わう。〉
「体つくりの運動遊び」（体）
「こえにだしてよもう」（国）
「みてみて、いっぱいつくたよ」（図）
「こぐまのらっぱ」（道・東書）

お仕事発見編（☆♥）
〈日々の生活の中で、自分を支えてくれている人の存在を感じ、自分でできることを見付けてやってみようとする。〉
「じぶんでできるよ」（生）
「係や当番の仕事を見直そう（学）
「ありがとうがいっぱい」（道）
「これならできる」（道）

一日体験入学編（★♡）
〈相手を思い浮かべながら計画し、５歳児に教えながら学校を案内したり、説明したりする。〉
「新しい１年生をしょうたいしよう」（生）
・交流の計画・準備（生）
・贈り物づくり（図）
「やればできるんだ」（道）

感謝の気持ちで編（☆♥）
〈入学してからの１年間を振り返り、自分の頑張りや成長を感じるとともに、自分を支えてくれた人に感謝し、その気持ちを伝えたり、行動したりする〉
・６年生を送る会（特）
・卒業式（特）
「みんなみんなありがとう」（道）

一緒に遊ぼうよ①（◇★♡）
〈遊びを通して新しい友達とのつながりを築いたり、自分たちで相談したり工夫したりしながら、活動する楽しさを味わう〉
・体つくりの運動遊び（体）・うたっておどってなかよくなろう（音）・固定遊具で遊ぼう（体）・ねんどとなかよし（図）・みずであそぼう（生）

一緒に遊ぼうよ②（◇★♡）
〈遊びを通して、同学年や異学年の友達とのつながりを築いたり、自分たちで相談したり工夫したりしながら、活動する楽しさを味わう。〉
「体つくりの運動遊び」（体）「どれみやがっきとなかよくなろう」（音）「固定遊具やボールで遊ぼう」（体）「みてさわって感じて」（図）・昔遊び（生）

本を通して言葉や想像の世界を広げよう（◆）
〈様々な本に触れ、想像を膨らませたり友達と面白さを共有したりしながら、文字に親しみ言葉を知っていく楽しさを味わう　〉
「おはなしたのしいな」「としょかんへいこう」（国）　・読み聞かせ（花矢図書館　ミラクルバナナ）　・読書タイム　　・ことば検定

本や言葉遊びを通して、言葉や想像の世界を広げよう（◆）
〈様々な本や言葉遊びを通じて、想像を膨らませたり友達と面白さを共有したりしながら、言葉の世界を広げていく楽しさを味わう。　〉
「むかしばなしを読もう」「ことばを見つけよう」（国）・読み聞かせ（花矢図書館　ミラクルバナナ　かぜ）・読書タイム・読書記録　カルタ大会・ことば検定

※ 特にねらうものについては、◆★♥で表記　※「☆チャレンジ」→課題解決力、自立心、協同性　など

主な行事	入学式 給食開始 PTA授業参観・懇談会 縦割り清掃班スタート	学校探検 交通安全教室・下校指導	☆運動会	☆チャレンジ活動	ことばとまなびの小テスト ☆七夕交流会（保小）	終業式 夏休み 保育体験	☆学習発表会 ☆保育所運動会	☆読み聞かせ会（5歳児参加） 保小中連携メディアコントロール週間	終業式 冬休み	☆体験入学 ☆カルタ大会（保小）	スキー教室 ６年生を送る会	卒業式 修了式 春休み
職員の交流他	就学前施設職員授業参観・情報交換会	幼保小連携推進会議	幼保小担任研修会			市夏季研修会		大館市教育研究会		教職員実践研究会		情報交換会

○☆環境助の構成のポイント	☆ 入学した喜びを共有し、意欲的に取り組もうとする姿を認め励ましたり、児童の話を共感しながら聞いたりして、温かな安心できる環境や分かりやすい学習環境を整える。 ☆ 幼児期の学びとのつながりを考慮し、幼児期に親しんだ活動を取り入れ、自信をもって活動できるようにする。 ○ これまでの経験を生かしながらやってみよう・考えてみようとする姿を認め、子どもの主体的な取組を支える。 ○ 生活科を中心とした合科的・関連的な指導を行ったり弾力的に時間割を工夫したりする。	☆ 試行錯誤や繰り返しの活動を保障し、具体的な体験を通して伝え合ったり交流したりする中で、お互いのよさやそれぞれの気付きを共鳴させるようにする。 ☆ 児童の気付きやつぶやきを価値付けながら、自信をもって活動できるよう、安心感や信頼関係を大事にしながら声掛けしていく。 ☆ 運動会などの取組を通して、頑張っている姿や友達と協力している姿を価値付けし、意欲を高める。 ○ 登下校や縦割り班活動、運動会、ふるさとキャリアの活動などへの取組を通して、地域の方々や他学年との関係づくりをするとともに、様々な人に支えられていることに気付けるようにする。	☆ 学習発表会などの取組を通して、自分たちで考えたり、相談したりして行動している姿を価値付けし、意欲を高める。 ○ 互いの良さに気付いたり、自分の成長を実感したりできるよう、学びの足跡や児童の作品の掲示の仕方を工夫する。 ○ これまでの経験や、学んだことを生かしながらやってみよう・考えてみようとする姿を認め、ゆとりある計画や時間の保障の中で、子どもの主体的な取組を支える。 ○ 先の予定や時間を意識させたりする工夫をしながら、児童が自ら活動の見通しが持てるようにしていく。	☆ これまでの経験を生かし、考えたり、話し合ったり、提案したりしながら、自分たちで課題を乗り越えようとする姿を認め、任せ切るよう心がける。 ☆ カルタ大会、体験入学、６年生を送る会など、自分にできることを考え、精一杯やり切ろうとしている姿を認め、意欲を高める。
家庭との連携	・学校の方針、１年生の目指す姿やスタートカリキュラム、重点施策等について伝え、理解を得る。 ・１年間の予定や１週間毎の具体的な予定を丁寧に伝え、保護者が見通しをもてるようにする。 ・連絡帳や通信などで子どもの様子を伝え、保護者が安心できるようにするとともに、家庭でも話題にしたり褒めたりしてもらえるよう、様々な情報を発信していく。	・児童及び保護者の不安や疑問等に寄り添い、丁寧に説明したり、情報を提供したりしながら、学校生活への理解を得る。 ・規則正しい生活習慣づくりやメディアコントロール、読み聞かせや音読、家庭学習など、継続する大切さを啓発していく。 ・学校行事や学年の活動、ＰＴＡ活動などへの協力をお願いするとともに、それらを通じて学校の教育活動を知り、教育理念等を理解していただくよう努める。 ・行事やＰＴＡ等の機会を通じ、他児と共に成長していく姿を伝え、保護者同士のつながりを築きながら「共育て」の風土を醸成していく。	・保護者の協力に感謝すると共に、子どもの頑張っていることやできるようになったこと、課題になることを具体的に伝える。	・これまでの取組への理解と協力に感謝し、児童の成長を具体的に伝え、喜びを分かち合う。 ・児童に身に付いたことと、家庭支援が必要なことを整理して伝え、今後もありのままを認め、励ましてくれるようお願いする。 ・１年間の協力に感謝し、次年度以降も理解と協力を得られるよう、信頼関係を大切につないでいく。